

2024年度

# 教育計画

Education plan



公益社団法人 山梨県看護協会  
看護教育研修センター



公益社団法人  
山梨県看護協会



# 看護職の皆様へ

## 2024年度「教育計画」冊子の発刊にあたって

山梨県看護協会 会長 佐藤 悦子

日頃より看護協会事業の推進に深いご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。2024年1月1日に発生しました能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地への支援ため、災害支援ナースの派遣に多大なご協力をいただきました。災害支援ナースの皆さま、関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

国は2023年10月に1992年に制定された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」を30年ぶりに改定しました。その中には高度な専門知識と技能を有する看護師等の資質を確保するための責務が述べられております。社会のニーズに対応していくためには量的確保と同時に看護職一人一人の資質を高めていく必要性があります。日本看護協会はそれを受け「看護職の生涯学習ガイドライン」を公表し、専門職として生涯主体的に学び続ける学習への方向づけを示しました。

山梨県看護協会は、体系的な生涯学習を考えた時、県内の看護職に向けた研修が様々なところでばらばらに行われていることに問題意識を持ち、体系的な生涯学習への取り組みに着手しました。「同じような研修がいくつかあってその差異がわからない」「研修のレベルがわかりにくいので自分は受けてよいのか躊躇する」等々の声もきかれ、主体的に自己の研修計画を立てるときのしにくさにつながっていると考えました。

そこで、2023年度より看護協会の新規事業として、3年計画で看護職のニーズに即した生涯学習の体系化に取り組んでおります。具体的には、現在県内で実施されている看護職に向けた研修の実態を把握し、そこから課題を抽出し対策を検討するもので「生涯学習のプラットフォーム in 山梨」を目指します。県看護協会、行政、教育機関、実践現場が検討会を立ち上げ一体となって、看護職の生涯学習支援体制の構築につなげたいと考えております。

変化する社会のニーズに対応するためには、絶えず新たな知識と技術を蓄積していく努力が必要であり、一人一人の看護職が自律的に生涯を通して学び続ける姿勢が求められます。県看護協会は、「教育計画」をもとに看護職に向けて教育事業を推進しており、ここに2024年度の「教育計画」をお届けします。これは、教育委員会の皆様、熱心な検討を重ね立案して下さったものです。「教育計画」をじっくりとご覧いただき、自分自身のキャリアを積み上げるために、研修をどのように組み立てていくか、ぜひご検討ください。2024年度は新たな研修システムも導入されますので、看護管理者の皆様には、一人でも多くの看護職が希望する研修に参加できますよう受講しやすい環境づくりに、ぜひともご協力、ご支援いただけますことを心よりお願い申し上げます。

2024年4月

# 山梨県看護協会 教育計画の柱

## 教育理念

看護職は、保健・医療・福祉のニーズの変化に柔軟に対応し、生命の尊厳と権利を尊重し、安全・安楽で、適切な看護サービスを提供できるための質を保証しなければならない。そのため、個々の看護職者は専門職として、自らの責任において、生涯にわたり更なる能力開発に努める責務がある。看護協会は、継続教育の体系化を図り、県民の健康と福祉の増進に貢献する専門職業人としての能力の開発・発展を支援する。

## 教育基本方針

公益社団法人山梨県看護協会は、看護の質の向上、安心して働き続けられる環境作りの推進、県民のニーズに応える地域医療を推進する事で、人々の健康な生活の実現に寄与する事を使命としている。

本会の教育基本方針は、日本看護協会及び本会の使命を達成するために質の高い看護人材を育成する教育・研修を企画・運営し、年間の研修計画を日本看護協会・国・県の施策等と連動させ、あらゆる看護実践現場において必要な知識・技術・態度の習得と維持向上、キャリア支援、及び指導者・看護管理者の育成を支援する事である。

## 教育目標

1. 医療と生活の両方の視点を持ち、根拠に基づく臨床推論力・臨床判断力を養う
2. 看護職のクリニカルラダーの取得に必要な知識・技術・態度を段階的に学び、安全で質の高い看護実践能力を養う
3. 地域共生社会において、チーム医療の推進、多職種との連携・協働をするためのコミュニケーション能力、マネジメント能力を養う
4. 看護専門職としての責務を自覚し、看護職としての価値観及び倫理観を養う
5. 看護の質を向上させるために、生涯に渡り自己教育力及び実践に活用できる研究能力を養う

## 目 次

看護職の皆様へ 2024年度「教育計画」冊子の発刊にあたって	1
山梨県看護協会 教育計画の柱	2
教育計画について	3
研修情報管理システムのご案内	4
オンライン研修を受講するにあたって	6
研修受講要領	7
2024年度山梨県看護協会教育部研修一覧	10
2024年度研修目次（分類別）	12
分類1 専門職としての活動の基盤となる研修	13
分類2 看護・医療政策に関する研修	26
分類3 人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修	27
分類4 看護管理者を対象とした研修	28
分類5 資格認定教育	28
その他 資格認定者関係・交流会・その他の研修会	29
トータル・サポート・マネジャー養成研修	30
訪問看護推進研修・交流会	30
ナースセンター研修	32
委員会主催の研修等	32
職能研修・地区支部研修	33
2024年度山梨看護学会のご案内	34
研修申込書 様式1～2	35

# 教育計画について

山梨県看護協会は重点事業の1つに「看護の質の向上を図るための人材育成」を掲げています。2024年度の教育計画は、日本看護協会が提供する2024年度からの研修の基本方針に則り企画しています。

看護職の生涯にわたる学習活動を支えるために、看護職一人ひとりの生涯学習の羅針盤となる「看護職の生涯学習ガイドライン」の考え方に基づいた新たな研修分類となっています。

研修等は、すべての看護職（保健師・助産師・看護師・准看護師）を対象としています。教育部、ナースセンター部、訪問看護ステーション部、山梨県訪問看護支援センター、職能委員会（保健師、助産師、看護師）、地区支部で研修・交流会を企画し、皆様の生涯学習を支援する内容となっています。

表1 研修分類 「日本看護協会の分類に準じる」

分類	内容
1 専門職としての活動の基盤となる研修	習熟段階や活動の場、役割等を問わず、すべての看護職の活動において、基盤となる研修を提供。
2 看護・医療政策に関する研修	日本看護協会から提供される、最新の情報も踏まえた看護・医療政策に関する研修
3 人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修	看護職の主體的な学びを支援する方の育成・支援を目的とした研修
4 看護管理者を対象とした研修	看護管理者としてより良く働くための環境整備に必要な労務管理に関する知識を始め、組織管理等に関する研修
5 資格認定教育	認定看護管理者教育課程

表2 研修分類1における「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」（JNAラダー）の段階設定

レベル	研修により到達を目指す能力・研修受講に適した能力
新人	社会人に求められる基本的な能力を備える 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する
I	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する
II	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する
III	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する
IV	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する

表1及び表2は公益社団法人日本看護協会「2024年度日本看護協会教育計画」より一部引用

表3 看護師が看護実践を行うために必要な能力「看護実践能力」

能力	能力の構成要素	能力および構成要素の定義
法的・倫理的実践能力	自らの判断や行動に責任を持ち、倫理的・法的規範に基づき看護を実践する能力。	
	アカウンタビリティ（責務に基づく実践）	看護師としての責務と職業倫理に基づき、自らの判断や行為、行ったことの結果に責任を負い、自身の役割や能力に応じた看護実践を行う。
	倫理実践	看護師として倫理的に意思決定、行動し、人々の生命や権利、多様性、プライバシー等を尊重し看護実践を行う。
	法的実践	看護師として法令遵守が定められている行動は何かを認識し、法令やガイドライン、所属組織等の規範に基づき看護実践を行う。
臨床実践能力	個別性に合った適切な看護を実践し、状況に応じて判断し行動する能力。	
	ニーズをとらえる力	体系的な情報収集とアセスメント（整理・分析・解釈・統合）を行い、看護問題の優先順位を判断し、記録共有する。
	ケアする力	ケアの受け手とのパートナーシップのもと、それぞれの状況に合わせた看護計画を立案・実施・評価し、実施した看護への対応を行う。
	意思決定を支える力	ケアの受け手や関係者との信頼関係と対話、正確かつ一貫した情報提供のもと、ケアの受け手がその人らしく生きるための意思決定を支援する。
マネジメント能力	組織の一員として看護・医療の提供を効率的・効果的に行うために、状況や役割に応じたリーダーシップを発揮しマネジメントを行う能力。	
	業務の委譲 / 移譲と管理監督	法的権限や役割等に応じて、看護チーム（看護師・准看護師・看護補助者）における業務委譲及び他職種への業務移譲と業務遂行の管理・監督を適切に行う。
	安全な環境の整備	安全な看護・医療提供環境の維持・実現のため、リスクの評価や適切なマネジメント方法の検討を行い、医療安全、感染予防、災害対応等を行う。
	組織の一員としての役割発揮	組織（チーム等）の中で、業務改善やチームワーク向上のために行動し、担う業務の優先度を考え、時間等の適切な管理のもと実施する。
専門性の開発能力	看護師としての資質・能力を向上し、適切かつ質の高い看護実践を通じて、看護の価値を人々や社会に提供し貢献する能力。	
	看護の専門性の強化と社会貢献	看護の専門職として、制度・政策の提言や看護学の発展等の看護の効率・効果を高める活動に、専門組織を通じて関わり社会に貢献する。
	看護実践の質の改善	看護の成果を可視化、分析することで、自身や組織の看護の改善プロセスに関わるとともに、同僚や学生の学習支援・指導に関わる。
	生涯学習	自身の能力の開発・維持・向上に責任を持ち、生涯にわたり自己研鑽を行い、他の看護師や保健・医療・福祉に関わる多様な人々と共に学び合う。
	自身のウェルビーイングの向上	適切で質の高い看護を実践するため、看護師自身のウェルビーイングを向上する。

表3「看護師の学びのサポートブック（日本看護協会版）」より一部引用

# 研修情報管理システムのご案内

2024年度から研修情報管理システム（EasySeminar イージーセミナー）を導入します。  
研修情報管理システムにご登録いただければ、会員・非会員問わずご利用できます。  
ぜひ、研修情報システムのマイページにご登録していただき、ご活用ください。

## マイページ登録～受講までの流れ

### ①マイページ登録 4月1日より開始

山梨県看護協会ホームページ 研修情報管理システム（イージーセミナー）の **ログイン** をクリック

- 施設担当者用
  - ・施設でまとめて研修を申し込み可能
  - ※施設担当者は個人用マイページ登録も必要
  - ※施設担当者は各施設1名の登録
- ★個人用
  - ・個人での申込が可能

**利用者情報の入力**  
必要な情報：山梨県看護協会会員番号・生年月日・就労職種・免許番号・電話番号・メールアドレス  
※携帯アドレスを利用する場合は、ドメイン「ez-seminar.jp」からのメール受信可能に設定してください。

### ②仮申請から本申請を行う

登録したメールアドレス宛に「仮登録完了メール」が送信されます。  
メール内のリンクをクリックして、登録完了ページへ移動してください。  
※仮登録から24時間経つと本登録ができなくなりますので、早めに本登録を行ってください。

- 施設担当者用  
施設担当者宛に協会からログインIDとパスワードを郵送します。  
通知が届きましたら、記載されたIDとパスワードでログインをしてください。
- ★個人用  
登録完了です。  
登録の際に指定したメールアドレスとパスワードでログインをしてください。

### ③研修を検索・お申し込み 5月1日より受付開始

マイページにログインし、研修の検索・申し込みをします。  
研修申込期間は原則、研修開催月2カ月前の毎月1日～20日です。  
申込時に会員費が未納の方は非会員価格になります。

7月開催研修会から申込み受付開始です。  
※7月開催研修会の場合  
受付期間5月1日～20日

- 施設担当申込み
  - ・施設担当者が複数人まとめて研修を申し込み可能
  - ・受講料施設一括支払い可能
  - ・受講料個人払いも可能
  - 申込み完了メールが施設担当者だけに届きます。
- ★個人用
  - ・申込み完了メールが登録したメールアドレスに届きます。
  - ・個人からの申し込みの場合は施設払いは不可。

#### ④受講料のお支払い

支払い期間（申込翌月の毎月1日～10日）になるとマイページに **支払い情報①** が表示されます。  
また、支払い者宛てにメールでお知らせが届きます。

コンビニエンスストア（PAYSLE）・電子マネー（Paypay・LINEPay）・金融機関（Payeasy）からお支払いください。  
請求書と領収書を発行することができます。必要に応じてご利用ください。

※支払い期間内に支払いがない場合は研修申込が自動キャンセルになりますのでご注意ください。

##### ●施設担当者用

受講料納入をもって受講決定となります。  
支払い期限後に研修案内のメールが届きます。受講される方に  
マイページの **お知らせ①** を確認するようお願いください。

##### ★個人用

受講料納入をもって受講決定となります。  
支払い期限後に研修案内のメールが届きます。  
マイページの **お知らせ①** をご確認ください。

課題のある研修は課題の案内がマイページに届きます。期限内に提出してください。

#### ⑤研修に出席する

##### 集合研修の場合



##### ●会員

- ・会員証の提示で受付
- ・電子会員証（キャリアース登録者）でも可

##### ●非会員

- ・受講票を持参
- ・スマホでの受講票表示も可

##### オンライン研修の場合

- ・マイページより参加が可能（Zoomアプリを使用）
- ・資料をダウンロードし印刷をしてください。  
（令和6年より資料は配布いたしません。）

#### ⑥研修終了後

・研修終了後に会員証で退出チェックをします。退出チェックをしないと修了できませんのでご注意ください。

### 大切なお願い

- 4月1日(月)からマイページを会員・非会員問わず、必ず登録をしてください。
  - \*施設担当者一括申込みの際、施設支払/個人支払いを選択できます。
  - \*研修に関するお知らせが受講者本人のマイページに届きます。
  - \*受講者本人が課題をダウンロードできます。
- マイページには申込研修に関する**大事なお知らせ（変更・事前準備・事前課題）**が届きます。お知らせ配信を知らせるメールを受信するために、登録の際、登録者情報を確認し「各種お知らせの案内を受け取る」に必ずチェックが入っていることを確認してください。
- 研修の変更時等はホームページでもご案内します。最新情報をご確認下さい。
- 会員のお手続き・情報変更はお早めをお願いいたします。  
研修申込時点で会費納入済みの方のみ会員受講料となります。  
研修申込時に今年度会費未納入の場合は、非会員受講料となります。  
申込時に表示される金額を確認して下さい。
- 研修受講の際、会員の方は会員証をご持参ください。  
研修受講時に会員証の提示が必要となりますので、研修受講の際は必ず会員証をご持参ください。キャリアースに登録されている方はスマートフォンでの電子会員証も利用できます。
- オンライン研修の事前準備
  - \*講義資料は令和6年度より配布はいたしません。ダウンロードできますので、各自で印刷してください。
  - \*オンライン研修は1人1台の端末（Webカメラ・マイク・スピーカー搭載）での受講を原則とします。

山梨県看護協会ホームページの「研修情報管理システム」より詳細情報・最新情報を確認してください。



## オンライン研修を受講するにあたって

オンライン研修ではWeb会議システムZoomを使用します。原則、オンライン研修は1人1台の端末での受講を原則とします。

悪天候や感染症等の拡大状況によっては、対面講義からオンライン研修に変更する場合があります。急遽、変更する場合は事前にホームページ、研修情報システム、受講決定通知、看護管理者を通してお知らせします。受講生の皆様には、研修会前日までに以下1～5の事前準備をお願いいたします。

### 1. インターネット環境の整備と最適化を行う

- ・有線によるLAN接続を行うか、Wi-Fiなど、接続状況が安定した場所で受講してください。

### 2. 受講するパソコンを準備する

- ・研修では、グループワークや講師や参加者とワークシートのやり取りすることがあります。また、研修情報管理システムでは研修情報が受講者専用のマイページにお知らせが届きます。受講者専用のパソコンを1人1台用意してください。（タブレットやスマートフォンでは、ワークシートのやり取りができません）複数人で1台のパソコンからの受講は控えてください。
- ・使用するパソコンにスピーカー、マイク、カメラが内蔵されているかを前日には確認してください。内蔵されていない場合はスピーカー、マイク、Webカメラ、イヤホンないしヘッドセット（1つのお部屋から複数人数で受講する場合）等をご準備の上、各自で受講に必要な環境を整えて研修に臨んでください。

### 3. 当日の受講方法について

- ・6月開催研修会までは、受講生の方に受講決定通知と共に参加していただくためのパスワードをお知らせいたします。当日は、山梨県看護協会ホームページ画面にアクセスして、事前に通知された方法でパスワードを入力しご参加ください。
- また、7月開催研修会からは研修情報管理システムのマイページから参加となります。研修情報管理システムのマイページを事前に確認してください。

### 4. Zoomアプリをインストールする

- ・Zoomアプリをインストールしてください。

Zoom公式ダウンロード：<https://zoom.us/download>

- ・ブラウザからのZoom参加は、通信速度が遅くなったり、ブラウザによって使用できる機能が異なる場合がありますので、Zoomアプリのインストールをお願いします。
- 注1) ブラウザとは、Microsoft Edge やGoogle Chrome など、ホームページを閲覧するためのアプリケーションです。
- 注2) 山梨県看護協会のZoom設定は、ブラウザからの参加を許可しない設定になっています。
- ・Zoomアプリは随時、更新してください。

### 5. 研修資料について

- ・令和6年度より資料は事前配布をいたしません。各自で資料のダウンロードおよび印刷をお願いいたします。

#### [その他]

- ・パソコンの基本操作については習得しているものとみなしますので、ご承知ください。
- ・受講される皆様のインターネット環境が原因による視聴ができない等の問題、あるいはパソコン等の機器の不具合に関連するトラブルには対応いたしかねますのでご了承ください。
- ・受講に必要なインターネットへの接続料金や通信料金等につきましては、各自の負担になります。

# 研修受講要領

## I. 研修場所・時間・開催方法

場所：公益社団法人 山梨県看護協会 看護教育研修センター

時間：1日研修：9:30～15:30 (受付9:00～9:15) ※研修開始15分前からオリエンテーション

半日研修：9:30～12:30 (受付9:00～9:15)

13:00～16:00 (受付12:30～12:45) ※同上

※研修によっては時間が上記と異なることがあります。教育計画一覧を参照してください。

開催方法：原則として、山梨県看護協会に来館の上、受講してください。

※ 急遽、開催方法を変更する場合は、ホームページに掲載します。

## II. 参加条件

1. 保健師・助産師・看護師・准看護師のいずれかの資格を有すること。※ 非会員も受講可
2. 全期間を通して研修に参加し、かつ専念できること。(研修当日の夜勤・当直などの就業は避けてください。受講者の途中変更は認めません。)
3. 参加条件がある場合は、設定された参加条件に該当すること。

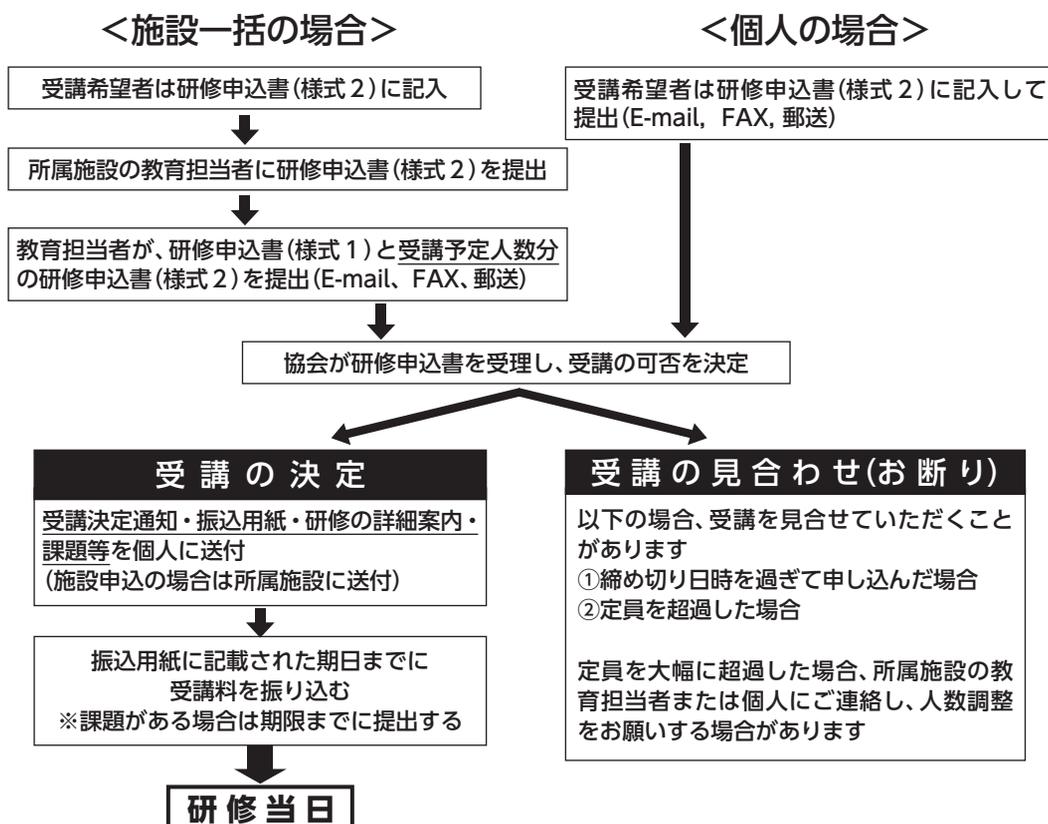
## III. 6月開催研修までの申込方法 ※7月開催研修からは研修情報管理システムをご利用ください。

該当する申込書(様式1および2)に必要な事項を記入の上、個人の方は直接、個人以外の方は所属の教育担当者を通して、教育部までお送りください。※ 非会員も同様

<申込時の注意事項>

- ・申込書は山梨県看護協会ホームページからダウンロードするか、教育計画冊子の該当ページをコピーして使用してください。
- ・様式1にある振込方法の、受講者の個人振込または施設の一括振込のどちらかを選択し、ご希望の振込方法にチェック☑を入れてください。
- ・申込書は、E-mail・FAX・郵送のいずれかの手段でお送りください。
- ・申込は、定められた申込期間の最終日の17時までとします。

### 6月開催研修までの申し込みから受講に至るまで



#### IV. 6月開催研修までの受講決定 ※7月開催研修からは研修情報管理システムで受講決定をお知らせします。

1. 受講決定者には、受講決定通知を送付します。

2. 受講料の納入について

振込方法：受講決定通知とともに送付された振込用紙を使用し、下記の振込方法の中からいずれかお選びください。

・コンビニエンスストア

・電子決済（PayPay、LINE Pay、J-Coin Pay・d払い・au PAY）

・施設一括払いに限り銀行での振込も可能です。（個人の銀行振込はご遠慮ください）

振込期日：振込用紙に振込期日（支払い期限）を記載しています。期日までに必ず振り込んでください。期日までに振り込めなかった受講予定者は必ず連絡してください。

振込手数料：振込手数料は各自で負担してください。

・一旦振り込まれた受講料は原則、返金できません。（講師の都合により開催日が変更され、代替日の受講が不可となった場合や、天災などにより研修が中止になった場合のみ返金します。）

・振込用紙を紛失した場合や施設一括振込で申込人数を変更する場合は連絡してください。

・振込用紙の払込受領書を紛失した場合、領収書の再発行はできませんのでご注意ください。

・研修無料受講券を使用する場合、申込時に連絡してください。

※研修無料受講券は、維持管理費を完納した会員に発行される券です。使用期間や利用できる研修など、幾つかの条件があります。詳しくは教育部へお問い合わせください。

#### V. 申し込み後の欠席・遅刻・早退 ※7月開催研修からは研修情報管理システムをご利用ください。

・受講辞退や欠席の場合には、分かり次第必ず連絡してください。

・研修当日の遅刻や早退の場合も連絡してください。なお、受講者の都合による欠席や遅刻、早退の場合、受講料の返金はいたしません。

欠席・遅刻・早退の連絡先：公益社団法人山梨県看護協会 教育部 055-236-5050（直通）

#### VI. 定員超過

各研修は、研修の特徴および教育効果等を考慮し、定員を設けています。定員を大幅に超過した場合、施設毎の公平性を基準に、受講を見合せていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。（該当施設の教育担当者に連絡し、相談させていただきます）

#### VII. 個人情報の取り扱い

本会の個人情報保護方針および規定に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。本会研修申し込みに際して得た個人情報は、研修会申し込みに伴う書類発送、学習ニーズや研修評価に伴う調査依頼、研修案内に用い、この利用目的の範囲を超えて、個人情報を取り扱うことはいたしません。もし、この範囲を超える場合には、本人の同意を得た上で取り扱います。

#### VIII. 研修中止・延期時の対応

気象庁の気象予報情報に基づき、以下のことが予想される場合は、研修を延期、または中止とし、その旨を管理者ないし本人に連絡をします。ホームページにも掲載いたしますので、各自でご確認ください。

・講師が来館できない場合、または研修終了後に帰宅できないことが予想される場合

・研修会場において、台風や大雪などの自然災害による影響が予想される場合

#### IX. 受講修了時の取り扱い

受講修了要件は、原則として全研修時間の4/5以上の出席となります。またレポート提出および最終日に発表会有る研修は、レポートの提出かつ発表することが条件となります。受講者の変更は認めません。受講修了要件を満たした方には、会員専用Webサイトキャリアナースに受講履歴が登録されます。受講履歴が登録されるまでには、研修終了後数ヶ月かかりますのでご了承ください。過去の受講履歴をご自身で記録保管していただくことをお勧めいたします。

## 【会員専用ページ キャリナース】

キャリナースは日本看護協会会員専用Webサイトです。ユーザ登録すると、会員情報の確認や変更、研修受講履歴の閲覧が可能になるほか、日本看護学会論文集等の文献検索や各種資料など看護業務に役立つ情報を得ることができます。山梨県看護協会または日本看護協会ホームページ（トップページ）のバナーからアクセスできます。会員の皆様はぜひ登録してください。

研修受講履歴の閲覧は2018年度以降からの研修が対象です。

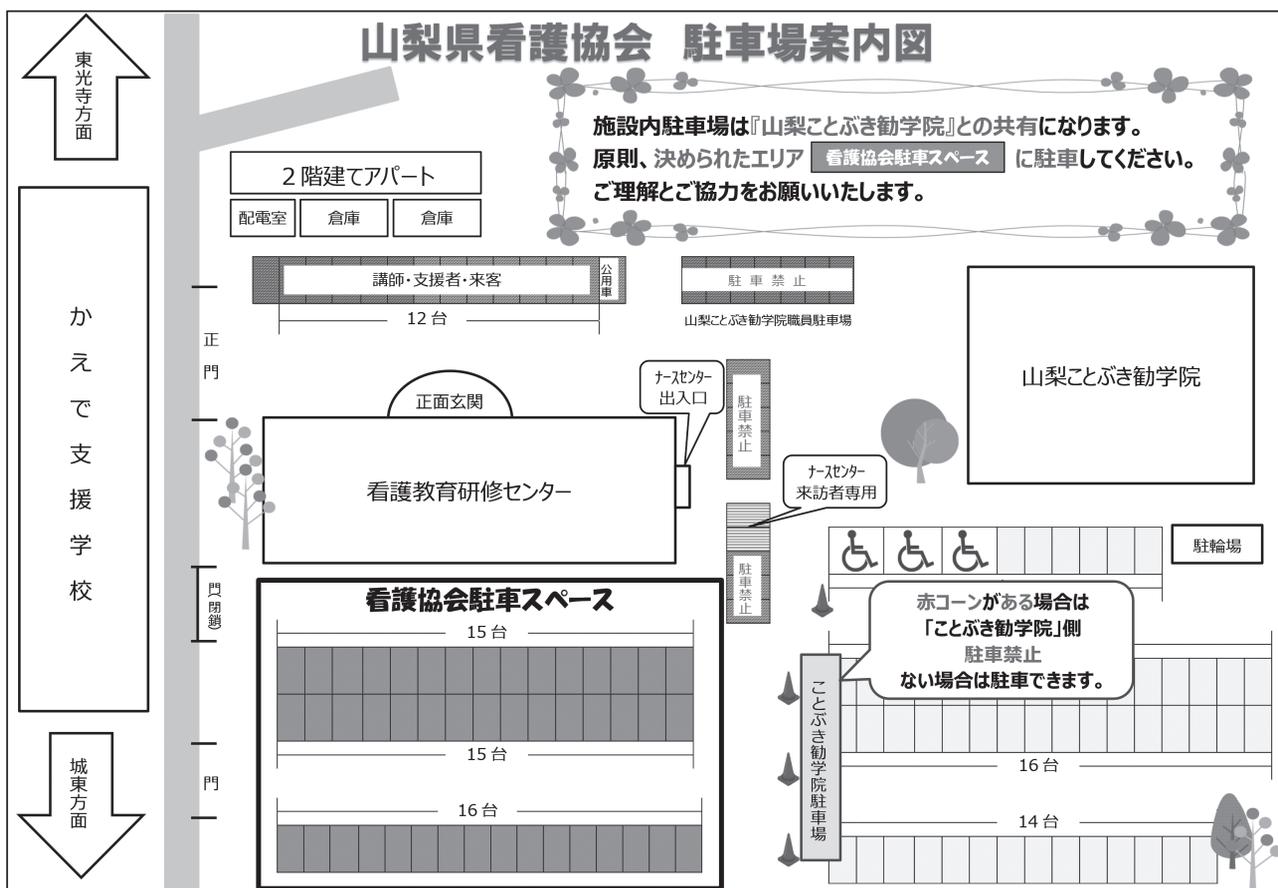


<https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101>



## X. その他

1. 感染対策を随時とらせていただきます。（手指消毒、室内換気等）
2. 受講する際は、研修に適した服装でお越しください。気温に応じて研修室内の空調設備を使用しますが、寒暖の感じ方には個人差がありますので、適宜、膝掛け等をご用意ください。
3. 研修内容の録音、録画は禁止です。発見した場合には機器をお預かりすることがあります。
4. 研修で撮影した写真は、協会刊行物やホームページに使用することがあります。
5. 配布する資料は原則1人に1部です。ただし、オンライン研修の場合は講義資料の配布はいたしません。ホームページよりダウンロードし、各自で印刷してください。
6. 協会周辺の飲食店や食料品店は限られていますので、昼食はあらかじめ持参をおすすめします。受講者用のポットや電子レンジ等の電気調理器および冷蔵庫等の低温保管場所は用意していません。
7. 駐車場は隣接している山梨ことぶき勸学院と共有しています。駐車可能な場所に停めてください。他の研修や事業が重複する日など、駐車できるスペースが限られ、近隣の駐車場へご案内することがあります。
8. 禁煙対策を強化しています。喫煙場所は設けていません。



## 2024年度 山梨県看護協会教育部研修一覧

※下記は2024年2月末現在のものです。日程や内容が変更される可能性がありますので、最新の情報はホームページで必ずご確認ください。

※研修受講料は、原則1日につき会員は3,000円(税込)、非会員は6,000円(税込)です。下記記載の受講料は、但し書きが無い研修は会員価格を記載しています。非会員の方は倍になります。

※研修コードは研修情報管理システムの研修コードです。

開催月	開催日	研修名	主な内容	ラダー	定員(名)	受講料 および資料代	申込期間	参照頁	研修コード
5月	5/10(金) 13:00～16:30	【 <b>新人看護職対象</b> 】 身に付けよう！専門看護職業人として働くために必要な社会人基礎力	社会人基礎力とは、社会人基礎力の必要な理由、社会人基礎力の3つの能力と12の能力要素、自己の社会人基礎力の振り返り、社会人基礎力の育て方	新人	100	1,500円 (会員・非会員共)	申込期間 (旧方法) 4/1～4/10 支払期間 (旧方法) 4/22～5/5	13	1CE01
	5/28(火)・6/6(木)・ 6/17(月)・7/17(水) 4日間研修	【 <b>リニューアル</b> 】 【 <b>新任副看護師長(主任)対象</b> 】 看護管理の第一歩	看護管理に必要なマネジメント、(6/6・6/17は、「組織の課題と問題解決思考」の合同研修)、自身の立場から取り組むべき課題と解決策を導き出す(演習・課題有) ※ <b>研修終了後、自施設で取り組み発表をしていただきます</b>	-	40	12,000円		28	4CE01
	5/30(木)・6/25(火) 2日間研修	看護研究【基礎編】自己流からの脱却	看護研究の基礎知識、文献検索、文献抄読、研究テーマの絞り込み (演習・事前課題有)	I～IV	20	6,000円		13	1CE04
6月	6/3(月)・6/11(火)AM	医療安全【基礎編】基礎から学べる医療安全	医療安全の基礎知識、看護職者の基本的責務と法的責任、事故防止対策の取り組み、医療事故時の対応、KYT 危険予知トレーニング (演習有)	新人～I	50	4,500円	申込期間 (旧方法) 4/20～4/30 支払期間 (旧方法) 5/20～5/30	14	1CE06
	6/4(火)	知っておきたい看護職のための栄養管理	栄養療法の基本と実際、栄養障害が身体に及ぼす影響、栄養サポートチームの活動、認知症高齢者の栄養管理	I～IV	40	3,000円		15	1CE09
	6/6(木) 9:30～12:30 6/17(月) 9:30～16:00	【 <b>リニューアル</b> 】 【 <b>ファーストレベル受講予定者必須・看護管理の第一歩受講生必須・経験年数5年以上</b> 】 問題解決思考	問題解決手法(問題とは何か・問題の構造・問題の発見・現状分析・問題点の同定・原因分析・解決策) (演習・課題有)	II以上	100	4,500円		15	1CE10
	6/7(金)・7/7(日)・ 8/1(木)・9/30(月)・ 10/10(木)5日間研修	脳血管障害をもつ人の生活再構築支援～急性期から回復期・生活期まで～	脳の解剖生理、脳卒中治療の基礎知識、急性期・回復期・生活期の看護、高次脳機能障害をもつ方へのリハビリテーション、家族支援、介護保険制度等	II～III	30	15,000円		16	1CE11
	6/13(木)	感染予防【基礎編】 感染予防の基礎を学ぼう～患者さんとあなた自身を守るために～	感染の成立と予防に関する考え、標準予防策、感染経路別予防策、新型コロナウイルス感染予防策、手指衛生と个人防护具の正しい着脱 (演習有)	新人～I	40	3,000円		16	1CE12
	6/18(火)・7/4(木)・ 8/22(木)・9/26(木)・ 2025.1/9(木) 5日間研修	感染予防【応用編】 現場に活かせる感染対策	基本的な感染対策の復習、所属部署(施設)の現状から課題を抽出、実践計画書の立案から、実践報告書の作成まで(課題・演習有) ※ <b>看護実践を報告書にまとめて発表していただきます</b>	III以上	30	15,000円		17	1CE14
	6/24(月)	感染予防【実践編】 所属部署におけるリンクナースの役割～感染リンクナースとして活動するために～	感染対策の基本知識(復習程度)、感染対策の目的、組織におけるリンクナースの役割、事例を用いた感染予防策の検討・リンクナースの役割 (演習有)	II～III	30	3,000円		16	1CE13
	6/27(木)・7/25(木)・ 8/27(火)・9/27(金)・ 10/24(木)・12/26(木) 6日間研修	看護研究【基礎から実践への架け橋編】 研究過程に必要な技術を身に付ける	文献検索、研究計画書の意義と作成、データ収集・分析方法、研究倫理、統計の基本、模擬研究を用いた研究発表のための学習等 (演習有) ※ <b>現在取り組んでいる看護研究の個別指導はありません</b>	I～IV	20	18,000円		14	1CE05
	6/28(金)・7/20(土)・ 8/8(木)・9/17(火)・ 10/3(木)5日間研修	【 <b>リニューアル</b> 】 がん看護のアップデート	がんゲノム医療、山梨県のがん対策、がん看護・がん治療の基礎知識、患者の心理過程、症状マネジメント、がんサバイバーシップ、意思決定支援等	II～IV	30	15,000円		17	1CE15
7月	7/2(火)・8/19(月) 2日間研修	現場に活かせるせん妄予防～発症予防・重症化予防のポイントを学ぶ～	せん妄の基礎知識(原因・悪化促進因子・せん妄の評価・薬物治療予防策)、アセスメントからケアの流れ、せん妄発症者への対応事例 (演習有)	新人～II	50	6,000円	システム 申込期間 5/1～5/20 システム 支払期間 6/1～6/10	19	1CE20
	7/3(水)	覗いてみよう！内視鏡検査を受ける患者の看護	内視鏡看護、消化器内視鏡、内視鏡機器の洗浄、内視鏡操作(演習)、悩み・課題討議(演習有)	新人～II	30	3,000円		18	1CE16
	7/4(木) 13:00～16:00	【 <b>新人看護職対象</b> 】 看護職として活き活きと働くために ※7/11と同じ内容	今の自分を見つめる、自分を知る、自分の成長を実感する、他施設の新人看護職と語り合う (演習有) ※ <b>技術の研修ではありません</b> ※ <b>看護協会紹介有</b>	新人	40	1,500円 (会員・非会員共)		13	1CE02
	7/8(月)	医療安全【実践編】 施設の医療安全の役割できていますか？	医療事故の背景、組織における医療安全委員・係の役割、事故事例分析方法(P-mSHELL分析)・医療安全における自己の役割 (演習有)	II～III	30	3,000円		14	1CE07
	7/11(木) 13:00～16:00	【 <b>新人看護職対象</b> 】 看護職として活き活きと働くために ※7/4と同じ内容	今の自分を見つめる、自分を知る、自分の成長を実感する、他施設の新人看護職と語り合う (演習有) ※ <b>技術の研修ではありません</b> ※ <b>看護協会紹介有</b>	新人	40	1,500円 (会員・非会員共)		13	1CE03
	7/18(木)・8/26(月)・ 9/19(木)・11/8(金)・ 2025.1/23(木) 5日間研修	医療安全【応用編】 チームで取り組む医療安全	安全文化の醸成、所属部署(施設)の現状から、課題を抽出し実践計画書の立案から実践報告書の作成まで(課題・演習有) ※ <b>看護実践を報告書にまとめて発表していただきます</b>	III以上	30	15,000円		15	1CE08
	7/19(金)	ひとつとじゃない！慢性腎臓病(CKD)～予防から維持透析まで～	慢性腎臓病の病態生理、新型コロナ感染と透析医療、山梨県の慢性腎臓病対策維持透析の最近の動向、透析療法に関するACP、CKD保存期の看護(血圧管理・服薬管理・食事療法・腎代替え療法の支援)、透析期の看護(体重管理、心のケア、シャント管理) (演習有)	新人～II	40	3,000円		18	1CE17
	7/24(水) 9:30～16:00 日本看護協会登録講義 +県看護協会演習	【 <b>主任・副師長・師長以上の看護管理者対象</b> 】 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 ※ <b>診療報酬加算対象研修</b>	看護補助者の活用促進の背景、看護補助者の位置づけ、看護補助者との協働に関する基本的な考え方、業務実施体制整備、看護職への教育体制整備、補助者労働環境整備と確保、看護補助者の育成・研修・能力評価、看護補助者体制整備に関する対策案の作成 (演習・事前課題有)	-	40	3,000円		28	4CE02
	7/26(金)・8/16(金) 2日間研修	【 <b>研修担当者・教育委員対象</b> 】 施設内研修企画に必要な基礎知識～研修企画のプロセスを学ぼう～	教育の必要性、成人学習者の特徴、現任教育の現状と課題、研修企画・評価の基本的要素、事例を基にした研修計画(案)・評価計画(案)の作成 (演習・事前課題有)	-	30	6,000円		27	3CE01
7/31(水)・8/1(木)AM	災害看護【災害はすぐそこに！！】 ～災害看護の基本的知識と私たちが今、行うべきこと～	災害サイクル、CSCATTT、災害看護の考え方、災害発生時の被災地内病院における初期対応、備えとしての平時の予防策、災害教育と防災訓練、T T T(個人演習)、災害机上訓練(個人演習)、災害支援時のあり方	I～III	50	4,500円	18	1CE18		

開催月	開催日	研修名	主な内容	ラダー	定員(名)	受講料 および資料代	申込期間	参照頁	研修コード
8月	8/6(火)	ライフサイクルから捉える女性のヘルスケア	女性のライフサイクルとホルモン動態、仕事を持つ女性特有の健康問題、女性の健康管理、ストレスマネジメント、自己の傾向を知る、最近のトピックス、エクササイズ(ストレッチとヨガ演習有) ※ヨガ初めての方も受講可	新人 ～Ⅱ	30	3,000円		19	1CE21
	8/20(火)・9/18(水)	【保健師対象】 災害時における行政保健師の役割と行動	災害対応に関する根拠法令と災害時保健医療体制、災害時の対応で目指すこと、災害時における保健活動の基本と行政保健師の機能・保健師の災害時のコンピテンシー、避難所運営シミュレーション演習(水害)、フェーズ0～2の保健活動、災害時の倫理的課題、受援の仕組み受援の為の体制整備と保健活動。(演習・事前課題有)	-	30	6,000円	システム 申込期間 6/1～6/20 システム 支払期間 7/1～7/10	20	1CE22
	8/28(水)	発達障害の傾向がある大人の特徴を理解した支援 ～スタッフ・学生の指導に活かす～	大人の発達障害を取り巻く現状と課題、大人の発達障害の特徴、発達障害の傾向がある看護学生・看護職に対する支援の考え方(演習・事前課題有)	I～Ⅲ	40	3,000円		20	1CE23
	8/29(木)・8/30(金) AM	【5年目以上看護職対象】 看護の現場で活かすファシリテーターの役割 ～より良いカンファレンス・会議に向けて～	ファシリテーションの基本的知識、問題解決プロセスとファシリテーション、議論を促進するコミュニケーションスキル、よりよいカンファレンスに向けて(演習有)	Ⅱ～Ⅲ	50	4,500円		20	1CE24
9月	9/4(水)	摂食嚥下障害を持つ人への看護	口から食べることの意味、摂食・嚥下のメカニズムとアセスメント、食べるための口作りと各種訓練法、口腔ケア、摂食・嚥下のリスク管理、事例報告(演習有)	新人 ～Ⅱ	50	3,000円		21	1CE25
	9/5(木)・9/6(金) 両日も9:30～16:30	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 ★2024年度JNA収録DVD研修 ※診療報酬加算対象研修 ※申し込み後のキャンセルはできません	認知症高齢者に関する医療の現状と国の取り組み、認知症に関連する疾患と病態・治療、組織で取り組む認知症高齢者ケア、看護に必要なアセスメント・コミュニケーション・援助技術、多職種・看護連携等(演習有)	-	60	会 員：6,270円 非会員：9,460円		26	2CE01
	9/10(火)・10/8(火) 2日間研修	【リニューアル】 糖尿病の基礎知識と看護のコツ	糖尿病の基礎知識と最新治療、糖尿病治療毎の看護の役割や視点、足病変予防(演習有)	I～Ⅲ	30	6,000円		21	1CE26
	9/12(木)	看護職のメンタルヘルス ～自分のこころをケアしよう～	看護職の現状、ストレスを知る、ストレスマネジメント、マインドフルネス・セルフコンパッションの効果と実践(演習有)	新人 ～Ⅱ	40	3,000円	システム 申込期間 7/1～7/20	21	1CE27
	9/13(金)	【NEW】いくつになっても気持ちの良い 排便(排便・排便)をするために ～排便の基礎知識、看護者のアセスメントとケア・支援～	排便・排尿のメカニズム、排便と日常生活、排便障害(便秘・便失禁等)・排尿障害(尿失禁・頻尿等)の要因とアセスメント、排便・排尿に影響する薬剤やコントロールで使用する薬剤の特徴、気持ちよく排便・排尿するためのケアと支援等	新人 ～Ⅱ	50	3,000円	システム 支払期間 8/1～8/10	22	1CE28
	9/25(水)・10/11(金)・ 11/1(金) 3日間研修	呼吸器ケアと循環器ケア ～呼吸不全・心不全に関する知識と技術の向上を目指して～	呼吸器・循環器系のフィジカルアセスメント、呼吸・心不全とリハビリテーション、事例検討、呼吸介助法、聴診法、ポジショニング、体位排痰法(演習有)	I～Ⅲ	60	9,000円		22	1CE29
	9/28(土) 9:30～16:00	【経験年数3年以上・管理者を除く】 看護リフレクション ～看護の質を高める看護実践・体験の語り～	看護リフレクションとは、体験から学ぶとは、看護リフレクションの流れ、看護リフレクションの実際(演習・事前課題有)	I～Ⅲ	30	3,000円		22	1CE30
10月	10/17(木) 9:30～16:30	【看護管理者・主任以上の中堅看護職・ 災害委員会対象】 災害看護【山梨県の災害リスクと看護職の災害マネジメント～災害対応力を高めるために～】	山梨県の災害リスクと防災対策、災害発生時病院で起こること、災害対策委員会の役割と災害教育、災害対策マニュアル整備の考え方、効果的な災害訓練、自施設の課題(演習・事前課題有)	Ⅱ～Ⅳ	40	3,000円		19	1CE19
	10/30(水) eラーニング講義個人受講 +県看護協会演習	【NEW】【病院の外來、診療所に勤務している 或いは勤務の予定がある看護職員】外來に おける在宅療養支援能力向上のための研修 ※演習受講には、eラーニング講義の 修了が条件となります	外來看護を取り巻く現状と課題を知り、自施設の外來が果たすべき役割と自らが外來で担うべき役割を理解し、在宅療養支援に必要な知識を習得する(事前課題・演習有)	Ⅱ以上	30	3,000円	システム 申込期間 8/1～8/20 システム 支払期間 9/1～9/10	23	1CE31
	10/31(木)・ 2025.2/5(水) 2日間研修	地域包括ケアシステムにつなげる入退 院支援 ～住み慣れた地域で暮らし続けるために～	入退院支援・退院調整のあり方、診療報酬上での入退院支援・退院調整の位置づけ、外來・病棟・地域がつながりあった支援体制、在宅診療医・保健師・ケアマネジャー・MSW・訪問看護師等との連携を考える	Ⅱ～Ⅲ	40	6,000円		23	1CE32
11月	11/7(木)	【リニューアル】 子どもの心理発達と虐待予防	子どもの心理発達の特徴、アタッチメントと養育支援、虐待を受けた子どもに見られる状態とその対応、虐待予防の家族支援、山梨県の虐待の状況、虐待に関係する看護師の役割、虐待に関連する所見、虐待対応、子どもの視野(チャイルドビジョン)体験	新人 ～Ⅱ	40	3,000円		23	1CE33
	11/21(木)	希望する最期を迎えるための看護職の 役割	在宅療養支援診療所医師の立場から、今日の看取りの現状と課題、多職種連携、ACPの基本的理解、協働意思決定における問題、もしバナゲーム(演習・事前課題有)	I～Ⅲ	50	3,000円	システム 申込期間 9/1～9/20 システム 支払期間 10/1～10/10	24	1CE34
	11/25(月)・12/9(月) 2日間研修	褥瘡ケアの基本的知識 ～予防からケア計画の立案まで～	皮膚の解剖生理、創傷治療過程、褥瘡の発生機序、予防対策とスキンケア、褥瘡経過評価スケールの使用方法とケア計画等(演習有)	I～Ⅱ	50	6,000円		24	1CE35
	11/9(土)・12/18(水)・ 2025.1/15(水) 3日間研修	変わる!あなたの認知症看護 ※診療報酬加算対象研修	認知症の原因疾患・症状・治療、認知症の人を正しく理解する、活用できる社会資源、事例で捉える認知症看護の視点(演習・事前課題有)	-	60	9,000円		26	2CE02
12月	12/2(月)・12/5(木)	【看護師対象】 看護過程の基本を学ぶ	看護過程とは、看護過程のプロセス、アセスメントの考え方、関連図作成の考え方、看護計画の構成要素、看護記録の必要性、記録を書く時の留意点(演習有)	-	30	6,000円	システム 申込期間 10/1～10/20	24	1CE36
	12/17(火)	看護職のためのアンガーマネジメント ～感情コントロールを身につけ、怒りと うまく付き合うために～	アンガーマネジメントとは、怒りが生まれるメカニズム、上手な叱り方・悪い叱り方、怒りの連鎖を断ち切る、自分のタイプを知る(演習有)	I～Ⅳ	50	3,000円	システム 支払期間 11/1～11/10	25	1CE37
1月	2025.1/8(水)	【NEW】もう一度アレルギーについて学び ませんか? ～アレルギーの基礎的理解と予防から 重症化対策まで～	アレルギーに関する基本的病態、アレルギーの検査、治療の柱、山梨県のアレルギーの現状と対策、皮膚アレルギー疾患のケア、食物アレルギーの対応、気管支喘息の対応、エビパンの使用法(演習)	新人 ～Ⅱ	40	3,000円	システム 申込期間 11/1～11/20	25	1CE39
	2025.1/16(木)	看護職者としての倫理的感性を磨こう!	看護倫理とは、臨床で直面する倫理的諸問題、意思決定のプロセスとインフォームド・コンセント、事例検討(演習有)	I～Ⅱ	50	3,000円	システム 支払期間 12/1～12/10	25	1CE38
3月	2025.3/2(日)	ティーチング・コーチングを活用した スタッフ指導 ～自立したスタッフを育成するために～	自立・成長を支援するためのティーチング・コーチングの使い分け、効果的な支持の方法、効果的な助言の方法、コーチングの方法(演習有)	-	50	3,000円	システム 申込期間 1/1～1/20 システム 支払期間 2/1～2/10	27	3CE02

## 2024年度 研修目次 (分類別)

※分類1～5は日本看護協会分類に準ずる。また、研修コードは、研修情報管理システムの研修コードです。

分類	研修コード	研修名	ラダー	ページ番号
1	【専門職としての活動の基盤となる研修】	1CE01 身に付けよう！専門看護職業人として働くために必要な社会人基礎力	新人	13
		1CE02 看護職として生き活きと働くために 1回目	新人	13
		1CE03 看護職として生き活きと働くために 2回目	新人	13
		1CE04 看護研究【基礎編】自己流からの脱却	I～IV	13
		1CE05 看護研究【基礎から実践への架け橋編】研究過程に必要な技術を身に付ける	I～IV	14
		1CE06 医療安全【基礎編】基礎から学べる医療安全	新人～I	14
		1CE07 医療安全【実践編】施設の医療安全の役割できていますか？	II～III	14
		1CE08 医療安全【応用編】チームで取り組む医療安全	III以上	15
		1CE09 知っておきたい看護職のための栄養管理	I～IV	15
		1CE10 問題解決思考	II以上	15
		1CE11 脳血管障害をもつ人の生活再構築支援～急性期から回復期・生活期まで～	II～III	16
		1CE12 感染予防【基礎編】感染予防の基礎を学ぼう ～患者さんとあなた自身を守るために～	新人～I	16
		1CE13 感染予防【実践編】所属部署におけるリンクナースの役割 ～感染リンクナースとして活動するために～	II～III	16
		1CE14 感染予防【応用編】現場に活かせる感染対策	III以上	17
		1CE15 がん看護のアップデート	II～IV	17
		1CE16 覗いてみよう！内視鏡検査を受ける患者の看護	新人～II	18
		1CE17 ひとつとじゃない！慢性腎臓病（CKD）～予防から維持透析まで～	新人～II	18
		1CE18 災害看護 災害はすぐそこに！！～災害看護の基本的知識と私たちが今、行うべきこと～	I～III	18
		1CE19 災害看護 山梨県の災害リスクと看護職の災害マネジメント～災害対応力を高めるために～	II～IV	19
		1CE20 現場に活かせるせん妄予防～発症予防・重症化予防のポイントを学ぶ～	新人～II	19
		1CE21 ライフサイクルから捉える女性のヘルスケア	新人～II	19
		1CE22 【保健師対象】災害時における行政保健師の役割と行動	—	20
		1CE23 発達障害の傾向がある大人の特徴を理解した支援～スタッフ・学生の指導に活かす～	I～III	20
		1CE24 看護の現場で活かすファシリテーターの役割～より良いカンファレンス・会議に向けて～	II～III	20
		1CE25 摂食嚥下障害を持つ人への看護	新人～II	21
		1CE26 糖尿病の基礎知識と看護のコツ	I～III	21
		1CE27 看護職のメンタルヘルス～自分のこころをケアしよう～	新人～II	21
		1CE28 いくつになっても気持ちの良い排泄（排尿・排便）をするために～排泄の基礎知識、看護者のアセスメントとケア・支援～	新人～II	22
		1CE29 呼吸器ケアと循環器ケア～呼吸不全・心不全に関する知識と技術の向上を目指して～	I～III	22
		1CE30 看護リフレクション～看護の質を高める看護実践・体験の語り～	I～III	22
		1CE31 外来における在宅療養支援能力向上のための研修	II以上	23
		1CE32 地域包括ケアシステムにつなげる入退院支援～住み慣れた地域で暮らし続けるために～	II～III	23
		1CE33 子どもの心理発達と虐待予防	新人～II	23
		1CE34 希望する最期を迎えるための看護職の役割	I～III	24
		1CE35 褥瘡ケアの基本的知識～予防からケア計画の立案まで～	I～II	24
		1CE36 【准看護師対象】看護過程の基本を学ぶ	—	24
		1CE37 看護職のためのアンガーマネジメント～感情コントロールを身につけ、怒りとうまく付き合うために～	I～IV	25
		1CE38 看護職者としての倫理的感性を磨こう！	I～II	25
		1CE39 もう一度アレルギーについて学びませんか？～アレルギーの基礎的理解と予防から重症化対策まで～	新人～II	25
2	【看護・医療政策に関する研修】	2CE01 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 ★2024年度 JNA 収録 DVD 研修 ※認知症ケア加算 2, 3 対応	—	26
		2CE02 変わる！あなたの認知症看護 ※認知症ケア加算 2, 3 対応	—	26
		2CE03 医療安全管理者養成研修 ※医療安全対策加算対応 <集合研修>	—	26
		2CE04 災害支援ナース養成研修 ※厚生労働省委託事業	—	27
3	【人材育成や教育支援を行うものを対象とした研修】	3CE01 施設内研修企画に必要な知識	—	27
		3CE02 ティーチング・コーチングを活用したスタッフ指導～自立したスタッフを育成するために～	—	27
4	【看護管理者を対象とした研修】	4CE01 看護管理の第一歩	—	28
		1CE10 問題解決思考	—	15
		4CE02 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 ※看護補助体制充実加算対応	—	28
		1CE19 災害看護 山梨県の災害リスクと看護職の災害マネジメント～災害対応力を高めるために～	—	19
5	【資格認定教育】	5CE01 認定看護管理者教育課程ファーストレベル	—	28
		5CE02 ファーストレベルフォローアップ研修	—	29

※   は、分類が重複しています。

## 分類1 専門職としての活動の基盤となる研修

※講師の所属、職位は3月上旬の内容です。

(\*は山梨県委託事業)

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<b>1. 新人看護師対象</b> 身に付けよう! 専門看護職業人として働くために必要な社会人基礎力 5月10日(金) 13:00~16:30 <b>【受講対象】</b> 経験年数1年未満の看護職 <b>【ラダー 新人】</b> <b>【研修コード】</b> ICE01	<b>【研修のねらい】</b> チームの一員として育ち、活躍するために社会人基礎力を培う意義を理解し、実践していく足がかりをつかむ。 どのような職業においても仕事をしていく上で共通な必要となる能力は、社会人基礎力ともいわれています。現在の医療や看護は、チーム医療、対象者の意思の尊重、専門性を活かした安全・安心、質の良い医療の提供が求められています。看護職としての専門力の活かし方も社会人基礎力によって培われるともいわれています。新人看護職が社会人基礎力を養い、チームの中で成長していくためにこの研修を企画しました。	<b>【講師】</b> 聖マリアンナ医科大学 看護師対策部門担当執行役員 ナースサポートセンター長 認定看護管理者 高橋 恵
<b>2. 新人看護師対象</b> 看護職として生き活きと働くために 各0.5日間 ※①②は同内容 ①7月4日(木) 13:00~16:00 ②7月11日(木) 13:00~16:00 <b>【受講対象】</b> 経験年数1年未満の看護職 <b>【ラダー 新人】</b> <b>【研修コード】</b> ①ICE02 ②ICE03	<b>【研修のねらい】</b> 看護専門職として生き活きと働くためのあり方を学び、他施設の新人看護職と交流することで、仲間意識を高める。 今年度の新入職者も、新型コロナウイルス感染症による影響で、学生の時期に必要な教育環境で学ぶことができなかった方も多いためです。社会人としての厳しい現実と向き合っている方も多いためです。今の自分の状態を少しでも振りかえり、日々感じている様々な思いや悩みを同期と分かち合うことで「自分だけが辛いのではない。みんなも同じ。明日からまた頑張ろう!」と前向きな気持ちになれる研修です。 ☆山梨県看護協会の紹介も山梨県看護協会会長からさせていただきます。	<b>【講師】</b> 山梨県立大学看護学部 名誉教授 文珠 紀久野
<b>3. 看護研究【基礎編】</b> 自己流からの脱却 2日間 ①5月30日(木) ②6月25日(火) <b>【ラダー I~IV】</b> <b>【研修コード】</b> ICE04	<b>【研修のねらい】</b> 看護実践の場における疑問を研究テーマにつなげるために必要なことを理解でき、文献を利用しながら、自己の疑問と研究課題を関連付ける。 初めて研究する際に最初に戸惑う、テーマをどうするか、何をするか、といった悩みを解決する糸口となるよう、看護研究に取り組む基本を学ぶ研修として企画しました。更に、これまで何となく見様見真似で研究に取り組んできた方も、改めて基本を学ぶことで研究の質の向上に役立ちます。臨地の疑問から研究課題を絞る、問題明確化のプロセスを講義やグループ演習で体験しながら学び、文献検索や文献抄読も行うことで、興味を持って研究に取り組むきっかけとすることを目的としているため、来年度以降に看護研究に取り組む方に適した研修です。	<b>【講師・演習支援者】</b> 山梨県立大学看護学部 成人・老年実践応用看護学 准教授 井川 由貴 <b>【演習支援者】</b> 山梨県内看護系大学ないし看護専門学校教員 3名

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p><b>4. 看護研究</b> <b>【基礎から実践への架け橋編】</b> *</p> <p>研究過程に必要な技術を身に付ける</p> <p>6日間 ①6月27日(木) ②7月25日(木) ③8月27日(火) ④9月27日(金) ⑤10月24日(木) ⑥12月26日(木)</p> <p>【ラダー I～Ⅳ】</p> <p>【研修コード】1CE05</p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 看護研究の一連の流れや看護研究に必要な手法を理解し、これから看護研究を実践するための知識や技術を具体的に身に付ける。</p> <p>看護研究には様々な過程があります。この研修では6日間にわたり、模擬研究を用いながら演習を含めて看護研究について体系的に学びます。看護系大学教員の先生から看護研究のためのコツやヒントを聴くプログラムも予定しています。</p> <p><b>【主な内容(講義・演習)】</b> 1日目 ・看護研究の概要 ・医学中央雑誌を活用した文献検索 2日目 ・文献紹介 ・研究計画書の検討 ・研究過程の実際① 3日目 ・調査の準備 ・倫理的配慮の検討 ・研究過程の実際② 4日目 ・統計の基本 ・データの整理および解釈 5日目 ・研究のまとめ ・発表準備 6日目 ・模擬研究発表会 ・研究実践に向けた今後の抱負</p>	<p><b>【講師・演習支援者】</b> 山梨県立大学 看護学部 実践基盤看護学領域 基礎看護学教授 内田 一美</p> <p><b>【演習支援者】</b> 山梨県内看護系大学ないし看護専門学校教員 5名</p>
<p><b>5. 医療安全【基礎編】</b></p> <p>基礎から学べる医療安全</p> <p>1.5日間 ①6月3日(月) ②6月11日(火) ②のみ9:30～12:00</p> <p>【ラダー 新人～Ⅰ】</p> <p>【研修コード】1CE06</p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 医療安全に関する基礎的知識・技術・態度を習得し、日常業務において医療安全対策を実施する。</p> <p>医療安全の基本的知識の習得をめざした研修とし、医療安全の係や委員でなくても、医療安全に興味のある看護職が参加できる研修として企画しました。安全に対する意識を高め、自部署での取り組みを振り返る機会を提供します。グループワークでは、KYTの演習を行い、演習を通して危険予測の仕方を学び職場で実践する力を身に付けます。病院看護職だけでなく、訪問看護師など在宅医療に携わる看護職の受講もお待ちしています。</p> <p><b>【主な内容(講義・演習)】</b> ・医療安全の基礎知識 ・看護職者の基本的責務と法的責任 ・医療事故発生時の対応 ・事故防止対策への取り組み ・危険予知トレーニングの考え方、仕方 等</p>	<p><b>【講師】</b> 山梨大学医学部附属病院 副看護部長・GRM 伊藤 雅美</p>
<p><b>6. 医療安全【実践編】</b></p> <p>施設の医療安全の役割できていますか？</p> <p>1日間 7月8日(月)</p> <p><b>【受講対象】</b> ・医療安全に関する病棟の係、委員になる予定の者 ・経験年数2年目以上で医療安全に興味があり、委員と協力して改善に取り組める方</p> <p>【ラダー II～Ⅲ】</p> <p>【研修コード】1CE07</p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 医療安全に関する動向やEBMに基づく医療安全対策、所属部署の医療安全に関する委員・係の役割、事故事例分析の方法(Pm-SHELL分析)を学び、自己の果たす役割を見出すことができる。</p> <p>インシデント・アクシデントについて、事故発生の背計を分析することが課題となっていることも多いです。この研修では、医療安全に関する動向を学びながら、実態把握できるような事故事例分析の方法(Pm-SHELL分析)を学ぶと共に、施設で役割を担った際、委員として自分がとるべき役割を見出すことを目指しています。医療安全の役割でないスタッフも、事故事例分析を通して自ら事故防止のシステムについて考えることができます。研修受講後は、現場の医療安全対策の課題解決の立案、実施に取り組んでいけるように、医療安全【応用編】の受講をお勧めします。</p> <p><b>【主な内容(講義・演習)】</b> ・医療事故の背景と情報収集方法 ・組織における医療安全係、委員の役割 ・事故事例分析方法(Pm-SHELL分析)</p>	<p><b>【講師】</b> 富士吉田市立看護専門学校 専任教員・元GRM 流石 和美</p> <p><b>【演習支援者】</b> 施設のGRM・協会の安全推進委員 6～7名</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p><b>7. 医療安全【応用編】*</b></p> <p>チームで取り組む医療安全</p> <p>5日間 ① 7月18日(木) ② 8月26日(月) ③ 9月19日(木) ④ 11月8日(金) ⑤ 2025年1月23日(木)</p> <p><b>【受講対象】</b> ・医療安全委員などの役割を担っている者 or 今後担う予定の者 ・医療安全に関する課題に取り組む意思のある者 ・医療安全【基礎編】【実践編】を受講していることが望ましい</p> <p><b>【ラダー Ⅲ以上】</b></p> <p><b>【研修コード】</b> 1CE08</p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 医療安全に関する知識を深め、所属部署（部署施設）の医療安全対策における解決策を検討し、計画を基に主体的に実践し、その成果を報告できる。</p> <p>医療安全に関する知識を統合させ、自らのテーマ（目標）を設定し、実践計画書の立案・実施・考察（評価）を行います。演習支援者による助言・相談を受けながら、最終的に実践報告書をまとめ発表することで、自らの成長を認め、更なる課題を見出すことができるでしょう。 <b>※自施設での看護実践を報告書にまとめて発表していただきます</b></p> <p><b>【主な内容（講義・演習）】</b> 1日目 ・現場にひそむ医療安全の課題から医療安全の取り組みを考える ・医療安全教育と教育のPDCA ・リスクマネジメントのPDCAプロセスとインシデント報告の重要性 等 2日目 ・医療安全とコミュニケーション ・医療安全に関する自己の関心や疑問の抽出 ・問題の根拠となる情報収集、分析、課題の明確化（焦点化） ・昨年度受講者の医療安全実践報告 3日目 ・実践計画書の精練 4日目 ・進捗状況報告会（中間報告） ・実践報告会に向けた準備 5日目 ・実践報告会</p>	<p><b>【講師】</b> 健康科学大学看護学部看護学科 教授 小林 美雪 山梨大学医学部附属病院看護部管理室 医療の質・安全管理部 副看護部長 伊藤 雅美</p> <p><b>【演習支援者】</b> 山梨県内病院 GRM等 3～4名</p> <p><b>【実践報告者】</b> 2023年度医療安全【応用編】受講者 2名</p>
<p><b>8. 栄養管理</b></p> <p>知っておきたい看護職のための栄養管理</p> <p>1日間 6月4日(火)</p> <p><b>【ラダー Ⅰ～Ⅳ】</b></p> <p><b>【研修コード】</b> 1CE09</p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 栄養障害が身体に及ぼす影響・スクリーニングおよび必要栄養量の算出方法、栄養療法の基本と実際など、看護職が押さえておくべき栄養管理全般について学ぶ。</p> <p>外来、病棟、在宅、どの場面においても栄養管理は大切です。この研修では、栄養に関する基礎知識や栄養障害による身体への影響、アセスメントや実践等を学びます。経験年数・職場を問わず（病院、在宅等）、どなたでも受講いただけます。</p> <p><b>【主な内容（講義・演習）】</b> ・栄養サポートチームの活動 ・栄養障害が体に及ぼす影響 ・スクリーニングと必要栄養量の算出 ・栄養療法の基本と実際 等</p>	<p><b>【講師】</b> Nurse Innovation株式会社 代表取締役 臨床栄養代謝専門療法士 周術期・救急集中治療専門療法士 NST専門療養士 朝倉 之基</p>
<p><b>9. 問題解決思考</b></p> <p>1.5日間 ① 6月6日(木) 9:30～12:30 ② 6月17日(月) 9:30～16:00</p> <p><b>【受講対象】</b> 開講年度のファーストレベル受講予定者必須、看護管理の第一歩受講生必須、経験年数5年目以上で問題解決思考に関して興味・関心のある看護職</p> <p><b>【ラダー Ⅱ以上】</b></p> <p><b>【研修コード】</b> 1CE010</p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 問題を整理し、あるべき姿を目指して現場を動かすために必要な、論理的な問題解決思考とスキルについて学ぶ。</p> <p>普段、職場や組織で感じている問題はありますか？この研修では、問題を整理して“あるべき姿を目指し、現場を動かす”論理的な解決思考とスキルについて学びます。問題解決思考を理解しておく、様々な場面で活用していくことができます。</p> <p><b>【主な内容（講義・演習）】</b> 問題解決思考のプロセス ・問題とは何か ・問題の構造 ・問題点の同定 ・原因分析 ・解決策 等</p>	<p><b>【講師】</b> 山梨大学大学院総合研究部医学域 臨床医学系 特任教授 山梨大学医学部附属病院 副経営管理部長 小林 美亜</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p><b>10. 脳血管(急性期・回復期) *</b></p> <p>脳血管障害をもつ人の生活再構築支援 ～急性期から回復期・生活期まで～</p> <p>5日間 ① 6月7日(金) ② 7月7日(日) ③ 8月1日(木) ④ 9月30日(月) ⑤ 10月10日(木)</p> <p>【ラダー II～Ⅲ】</p> <p>【研修コード】 1CE11</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>脳血管障害をもつ人の生活再構築支援に必要な基本的知識・技術・態度を習得し、脳卒中リハビリテーション看護を実践する能力の向上を図る。</p> <p>脳血管障害をともに乗り越え、障害を抱えつつ生活する人々に寄り添うために私たちにできることは何か?リハビリテーション専門職(PT・OT・ST)の役割や他職種との連携・協働について、脳血管障害看護の全ての病期を統合させた継ぎ目のない看護を提供するための基本的知識・技術・態度について、じっくり学びます。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <p>1日目 ・脳卒中概論(分類・診断等)、脳卒中の初期治療 ・治療ガイドライン、脳血管障害の急性期治療の実際 等</p> <p>2日目 ・経過別に見た脳卒中看護、脳卒中看護における倫理的課題 等</p> <p>3日目 ・高次脳機能障害の概略、易怒性事例や問題行動への工夫対応 ・環境調整、就労支援、小児における事例、支援者の配慮 等</p> <p>4日目 ・リハビリテーション医療の現状、リハ専門職の役割 ・看護とセラピストの連携協働によるADLアプローチ</p> <p>5日目 ・摂食嚥下障害への対応、失語症の理解と対応 ・在宅療養利用者への支援の実際 ・介護保険制度の利用、各種サービスの活用 等</p>	<p>【講師】</p> <p>山梨大学医学部脳神経外科 講師 吉岡 秀幸 東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科 診療部長 渡邊 修 山梨県立大学看護学部実践基盤看護学 講師 新藤 裕治 山梨大学医学部附属病院 理学療法士 八木野 義孝 山梨リハビリテーション病院 作業療法士 佐尾 健太郎 湯村温泉病院 言語聴覚士 赤池 三紀子 共立介護福祉センターいけだ 在宅看護専門看護師 河西 由貴</p>
<p><b>11. 感染予防【基礎編】</b></p> <p>感染予防の基礎を学ぼう ～患者さんとあなた自身を守るために～</p> <p>1日間 6月13日(木)</p> <p>【ラダー 新人～I】</p> <p>【研修コード】 1CE12</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>感染予防に関する基礎的知識・技術・態度を習得し、日常業務において感染予防を実践する。</p> <p>CDCガイドラインの標準予防策の原則をもとに、医療従事者として、最低限身につけておきたい基礎知識を学ぶことができます。個人防護具の着脱及び正しい手洗方法(演習)なども学びます。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <p>・感染の成立と予防に関する考え方 ・標準予防策 ・感染経路別予防策 ・新型コロナウイルス感染予防策 ・手指衛生と個人防護具の正しい着脱</p>	<p>【講師】</p> <p>山梨大学医学部附属病院 看護師長 感染管理認定看護師 窪川 佳世</p> <p>【演習支援者】</p> <p>感染症看護専門看護師ないし 感染管理認定看護師 2名</p>
<p><b>12. 感染予防【実践編】</b></p> <p>所属部署におけるリンクナースの役割 ～感染リンクナースとして活動するために～</p> <p>1日間 6月24日(月)</p> <p>【受講対象】</p> <p>・感染の基礎知識を持っていること、感染に関する病棟の係、委員や予定の看護職</p> <p>【ラダー II～Ⅲ】</p> <p>【研修コード】 1CE13</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>リンクナースとしての役割意識が持て、現場での活動方法を見出す。</p> <p>感染予防・管理の基礎的知識を活用し、感染症が発生した際の感染対策を立案し現場で実践できることを目指しています。リンクナースとして何をしたらよいかわからないと悩んでいる皆さんにお勧めです。また、病棟の係・委員と協力して、現場の感染対策を考えていける看護職も受講対象です。研修受講後は実施への知識を深めるためには感染予防【応用編】もあります。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <p>・経路別標準予防策(おさらい) ・感染対策の目的 ・組織におけるリンクナースの役割 ・自施設のマニュアルを確認 ・リンクナースの活動の実際 ・事例検討</p>	<p>【講師・演習支援者】</p> <p>市立甲府病院 看護師長 感染管理認定看護師 九川 卓也</p> <p>【演習支援者】</p> <p>感染看護専門看護師ないし 感染管理認定看護師 6名前後</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p><b>13. 感染予防【応用編】*</b></p> <p>現場に活かせる感染対策</p> <p>5日間                      ① 6月18日(火)                      ② 7月4日(木)                      ③ 8月22日(木)                      ④ 9月26日(木)                      ⑤ 2025年1月9日(木)</p> <p><b>【受講対象】</b>                      ・感染対策に関する役割を担っている者 or 今後担う予定の者                      ・感染対策に関する課題に取り組む意思のある者                      ・感染予防【基礎編】【実践編】を受講していること(または過去に同内容の研修を受講していること)が望ましい</p> <p><b>【ラダー Ⅲ以上】</b></p> <p><b>【研修コード】 ICE14</b></p>	<p><b>【研修のねらい】</b>                      感染に関する知識を深め、所属部署(部署施設)の感染対策における課題について解決策を検討し、計画を基に主体的に実践し、その成果を報告できる。</p> <p>感染対策に関する知識を統合させ、自らのテーマ(目標)を設定し、実践計画書の立案・実施・考察(評価)を行います。演習支援者による助言・相談を受けながら、最終的に実践報告書をまとめ発表することで、自らの成長を認め、更なる課題を見出すことができるでしょう。  <b>※自施設での看護実践を報告書にまとめて発表していただきます</b></p> <p><b>【主な内容(講義・演習)】</b>  <b>1日目</b>                      ・山梨県における感染対策の現状と課題                      ・感染対策の基本の復習                      ・職員教育、データの収集方法、まとめ方、表し方  <b>2日目</b>                      ・感染対策における看護師の役割                      ・現場に潜む感染の課題と取り組みのヒント                      ・感染対策の実践計画書の立案・実施・評価の方法                      ・感染対策に関する自己の関心や疑問の抽出                      ・問題の根拠となる情報収集、分析、課題の明確化(焦点化)                      ・昨年度受講者の感染対策実践報告  <b>3日目</b>                      ・実践計画書の精錬 ・実践スケジュールの検討  <b>4日目</b>                      ・進捗状況報告会(中間報告) ・実践報告会に向けた準備  <b>5日目</b>                      ・実践報告会</p>	<p><b>【講師】</b>                      山梨県感染症対策センター 担当者                      山梨県立大学看護学部 実践基盤看護学准教授                      看護実践開発研究センター                      感染管理認定看護師教育課程                      主任教員 武井 泰                      上野原市立病院                      感染管理認定看護師 山田 かつ美</p> <p><b>【演習支援者】</b>                      感染管理認定看護師 3名</p> <p><b>【実践報告者】</b>                      2023年度感染予防【応用編】                      受講者 2名</p>
<p><b>14. がん看護*</b></p> <p>がん看護のアップデート</p> <p>5日間                      ① 6月28日(金)                      ② 7月20日(土)                      ③ 8月8日(木)                      ④ 9月17日(火)                      ⑤ 10月3日(木)</p> <p><b>【ラダー Ⅱ~Ⅳ】</b></p> <p><b>【研修コード】 ICE15</b></p>	<p><b>【研修のねらい】</b>                      がんを患っている人やその家族に対して専門性の高い看護を提供するための基本的知識・技術・態度を習得する。</p> <p>山梨県内の臨床現場で活躍する医師や専門看護師・認定看護師等から、がんの最新医療並びに治療期から終末期のケアに必要な知識について学びます。日進月歩のがん医療やケアについて学びを深めましょう。</p> <p><b>【主な内容(講義・演習)】</b>  <b>1日目</b>                      ・山梨県のがん対策と課題                      ・がん看護の基礎知識、患者の権利と意思決定支援、看護倫理  <b>2日目</b>                      ・乳がんの病態整理と治療                      ・がん放射線療法の看護  <b>3日目</b>                      ・がん患者の心理過程、がん医療におけるコミュニケーション                      ・Bad Newsの伝え方、小演習                      ・対応に困った事例検討や意見交換  <b>4日目</b>                      ・がんサバイバーシップ                      ・家族ケア                      ・入退院支援                      ・がんゲノム医療最前線  <b>5日目</b>                      ・疼痛のメカニズム                      ・全人的苦痛のアセスメントとケア                      ・症状を緩和するための看護師の役割                      ・がん薬物療法に関する基礎知識、副作用とその対策                      ・外来がん薬物療法の実際と看護師の役割</p>	<p><b>【講師】</b>                      山梨県福祉保健部健康増進課                      がん対策推進担当                      山梨県立大学看護学部                      成人・老年実践応用看護学 教授                      看護実践開発研究センター センター長                      がん看護CNS 前澤 美代子                      山梨県立中央病院                      外科系第一診療統括副部長                      井上 正行                      山梨県立中央病院                      がん放射線療法CN 早川 里美                      市立甲府病院 がん看護CNS                      嶋田 やよい                      富士吉田市立病院 がん看護CNS                      小池 賀津江                      山梨県立中央病院 ゲノム解析センター                      センター長 消化器内科 望月 仁                      山梨県立中央病院                      がん性疼痛看護CN 宮久保 朱実                      市立甲府病院                      がん化学療法CN 志村 美和</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p><b>15. 内視鏡看護</b></p> <p>覗いてみよう！内視鏡検査を受ける患者の看護</p> <p>1日間 7月3日(水)</p> <p><b>【ラダー 新人～Ⅱ】</b></p> <p><b>【研修コード】 ICE16</b></p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 内視鏡検査や看護の基本的知識・技術・態度を学び、内視鏡検査に携わる勤務する看護師の役割について理解する。</p> <p>内視鏡看護に関する研修の機会は少なく、正しい知識を得にくい現状です。この研修では、内視鏡検査を受ける患者への看護の基礎となる、内視鏡に関する基本的知識や検査を受ける患者への配慮、クリッピング等の機器操作について学びます。この研修を受講することで、内視鏡看護に興味を持ち、消化器内視鏡技師資格の取得などのスキルアップのための動機づけになることを期待しています。</p>	<p><b>【講師】</b> 山梨厚生病院 大柴 加代子 峡南医療センター富士川病院 中沢 珠美 甲府共立病院 消化器内視鏡技師 伊東 百合子 以上3名、消化器内視鏡技師資格者</p>
<p><b>16. 透析看護</b></p> <p>ひとごとじゃない！慢性腎臓病(CKD)～予防から維持透析まで～</p> <p>1日間 7月19日(金)</p> <p><b>【ラダー 新人～Ⅱ】</b></p> <p><b>【研修コード】 ICE17</b></p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 慢性腎臓疾患や透析医療をめぐる今日の問題や透析看護の基本的知識を理解し、透析医療に携わる看護職の役割について考える。</p> <p>慢性腎臓病に関心のある方が対象です。腎代替療法を受ける患者の不安や心理、看護師の関わり、透析医療に関して日頃抱えている悩みやジレンマを解決する糸口を見出せるかもしれません。クリニック等に勤務する看護師、CKD予防に携わっている行政保健師の方にもお勧めします</p>	<p><b>【講師】</b> 福島県立医科大学甲状腺内分泌学講座 主任教授 古屋 文彦 山梨県立中央病院 清水 美樹 笛吹中央病院 来城 順子 上記2名、透析看護認定看護師</p>
<p><b>17. 災害看護</b></p> <p>災害はすぐそこに！！～災害看護の基本知識と私たちが今、行うべきこと～</p> <p>1.5日間 ①7月31日(水) ②8月1日(木) ②のみ9:30～12:00</p> <p><b>【ラダー I～Ⅲ】</b></p> <p><b>【研修コード】 ICE18</b></p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 災害看護の基本的知識と災害発生時に所属部署でとるべき行動を想定でき、自己の果たすべき役割を見出す。</p> <p>幅広い対象者向けの研修です。災害はいつ発生するかわかりません。また、近年、地球環境の変化による自然災害の増加、核物質の利用、交通機関の発達、新たな感染症の発生、地域紛争などにより災害被害は増加しています。また、日本は地震大国、火山地帯、台風の通り道でもあり、いつ災害が発生してもおかしくない状況です。この研修では、災害の基本的な内容を始め、災害時に病院看護師として取る行動について具体的に学んでいきます。受講後は災害看護【山梨の災害リスクと看護職の災害マネジメント】の受講をお勧めします。</p>	<p><b>【講師】</b> 山梨赤十字病院 看護師長 小山 ひろ美</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p><b>18. 災害看護</b></p> <p>山梨県の災害リスクと看護職の災害マネジメント ～災害対応力を高めるために～</p> <p>1日間 10月17日(木) 9:30～16:30</p> <p><b>【受講対象】</b> 看護管理者・主任以上の中堅看護職・災害委員</p> <p><b>【ラダー II～IV】</b></p> <p><b>【研修コード】 ICE19</b></p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 山梨の災害リスクの理解と平時や災害時の災害対策委員・看護管理者の役割や対応について考えます。</p> <p>山梨県の地形から考えられる災害リスクについて理解することは、災害委員・管理者として所属施設の防災対策を考える上でとても重要です。災害時に迅速に対応するための平時からの災害マネジメントを学び、効果的な看護職の災害対応力について、一緒に考えてみませんか。</p> <p><b>【主な内容(講義・演習)】</b> ・山梨県の地質・地形から考える災害リスク(地震、豪雨・豪雪、火山噴火) ・災害発生時病院で生じる事 ・災害対策委員等の役割と災害教育 ・災害対策マニュアル整備の考え方 ・効果的防災訓練 ・自施設の課題への対応検討</p>	<p><b>【講師】</b> 山梨県立大学 客員教授 奥水 達司</p> <p>公益財団法人小千谷総合病院 元看護部長 元NPO法人防災サポートおぢや理事 佐藤 和美</p>
<p><b>19. せん妄ケア *</b></p> <p>現場に活かせるせん妄予防～発症予防・重症化予防のポイントを学ぶ～</p> <p>2日間 ①7月2日(火) ②8月19日(月)</p> <p><b>【ラダー 新人～II】</b></p> <p><b>【研修コード】 ICE20</b></p>	<p><b>【研修のねらい】</b> せん妄予防に関する知識・技術・態度を習得し、せん妄を予防し、重症化・長期化させないための対応について学ぶ。</p> <p>令和2年度診療報酬改定にてせん妄ハイリスク患者ケア加算が創設され、せん妄リスク因子の有無を判断し、薬物を使用せずに早期からせん妄を予防するための対応が評価されています。せん妄について正しく理解し、患者や利用者が安全・安楽な生活を送るためのケアや支援について学びます。</p> <p><b>【主な内容(講義・演習)】</b> 1日目 ・せん妄の基礎知識、原因、悪化促進因子 ・せん妄の評価、せん妄と薬物、せん妄の治療、予防と対策 ・せん妄ケアに関する現場の課題 2日目 ・アセスメントツール、スケールの活用方法について ・せん妄発症時のケアと効果的なせん妄予防対策</p>	<p><b>【講師】</b> 公立阿伎留医療センター 緩和治療科 部長 精神腫瘍医 小林 薫</p> <p>山梨県立北病院 精神看護専門看護師 武井 千寿</p>
<p><b>20. 母性看護 *</b></p> <p>ライフサイクルから捉える女性のヘルスケア</p> <p>1日間 8月6日(火)</p> <p><b>【ラダー 新人～II】</b></p> <p><b>【研修コード】 ICE21</b></p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 思春期から中高年期における女性のライフサイクルと女性特有の健康問題について学び、ケアの必要性やヘルスケアについて理解する。</p> <p>女性はホルモンバランス等の影響を受けやすく、心身の不調は日々の生活や仕事、人間関係にも影響を及ぼします。この研修で女性の健康問題や必要なケアを理解することで、ご自身の健康を振り返る機会になり、職場スタッフの健康相談への対応のヒントが見出せるかもしれません。後半はストレッチとヨガの演習を予定しています。 ※ヨガが初めての方も受講いただけます。ヨガマットを貸与します。</p> <p><b>【主な内容(講義・演習)】</b> ・女性のライフサイクルとホルモン動態 ・仕事を持つ女性特有の健康問題(不眠、月経障害、不妊、更年期障害 等) ・女性の健康管理 ・ストレスマネジメント ・自己の傾向を知る ・最近のトピックス ・エクササイズ(ストレッチとヨガ体験)</p>	<p><b>【講師】</b> 山梨大学大学院総合研究部 生涯発達看護学 母性看護学 助産学 教授 小林 康江</p> <p>山梨大学大学院総合研究部 生涯発達看護学 母性看護学 助産学 助教 佐々木 美果</p> <p>Prana Yoga &amp; Ayurveda 主宰 ヨガセラピスト 石原 里佳子</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p><b>21. 保健師対象 *</b></p> <p>災害時における行政保健師の役割と行動</p> <p>2日間 ①8月20日(火) ②9月18日(水)</p> <p><b>【受講対象】</b> 災害対応に関心のある行政保健師・リーダー的立場の保健師</p> <p><b>【研修コード】</b> ICE22</p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 自然災害における行政保健師の役割を理解し、災害に対応できる能力を高める。</p> <p>毎年のように大規模自然災害が発生しています。災害時には行政保健師も多くの役割を果たす必要があります。その際には、経験年数が浅い保健師も活動を行っていかねばなりません。多くの保健師に受講していただきたい研修です。演習では、想定された災害の状況に対し、具体的にシミュレーションしながら保健師としての判断や行動について学び、実践力の向上を目指します。</p> <p><b>【主な内容(講義・演習)】</b> 1日目 ・災害時(地震ないし水害)における行政保健師の役割 ・避難所運営シミュレーション ・避難所のアセスメント ・フェイズ0～2の保健活動 ・リフレクション 2日目 ・受援に関わる行政保健師の役割 ・災害時の倫理的課題と意思決定 ・県外保健師への情報提供内容 ・派遣、応援支援に関する判断、課題 ・リフレクション</p>	<p><b>【講師】</b> 自治医科大学看護学部 看護学部長 地域看護学 教授 春山 早苗</p> <p><b>【講師・演習支援者】</b> 自治医科大学看護学部 地域看護学 准教授 島田 裕子</p>
<p><b>22. 発達障害</b></p> <p>発達障害の傾向がある大人の特徴を理解した支援 ～スタッフ・学生の指導に活かす～</p> <p>1日間 8月28日(水)</p> <p><b>【ラダー I～Ⅲ】</b></p> <p><b>【研修コード】</b> ICE23</p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 発達障害の傾向のあるスタッフ・学生の特徴を理解し、その人が自分らしい社会生活を送れるための支援について考える。</p> <p>平成17年4月、発達障害者支援法に基づいた取り組みがスタートしました。発達障害のある人の理解やそれぞれのライフステージ(年齢)にあった適切な支援を受けられる体制を整備することを目指しています。医療や看護の臨床現場においても、発達障害を持ち職場適応に困難を感じている人や指導に困難を感じている指導者もいることが予想されます。発達障害をもつ人または傾向のある人の特徴やよりよい支援方法を学び、彼らが自分らしく働けるための支援を考える機会とすることをねらいとしています。</p> <p><b>【主な内容(講義・演習)】</b> ・大人の発達障害の特徴 ・大人の発達障害を取り巻く現状と課題 ・発達障害支援法、発達障害を持つ人への対応 ・発達障害傾向があるスタッフに対する支援 ・事例検討</p>	<p><b>【講師】</b> 山梨県立北病院 生活支援部長・精神科医師 長谷部 真歩</p> <p><b>【講師・演習支援者】</b> 山梨県立北病院 渡邊 圭子 山梨厚生病院 志村 聡子 上記2名、精神看護専門看護師</p>
<p><b>23. ファシリテーション</b></p> <p>看護の現場で活かすファシリテーターの役割 ～よりよいカンファレンス・会議に向けて～</p> <p>1.5日間 ①8月29日(木) ②8月30日(金) ②のみ9:30～12:00</p> <p><b>【受講対象】</b> 経験年数5年以上の看護職</p> <p><b>【ラダー II～Ⅲ】</b></p> <p><b>【研修コード】</b> ICE24</p>	<p><b>【研修のねらい】</b> ファシリテーションスキルを学び、カンファレンスにおけるファシリテーターの役割を見出す。</p> <p>看護の職場では、様々なカンファレンスが実施されることが多いです。その中でファシリテーションは、参加者の意見を十分に引き出し、有効なカンファレンスとなるために必要なスキルです。この研修では、集団学習の効果がより高まるようなファシリテーターの役割や考え方、スキルを学びます。</p> <p><b>【主な内容(講義・演習)】</b> ・ファシリテーションの基礎知識 ・ファシリテーターの基本のスキル (場のデザイン、対人関係、構造化、合意形成) ・よりよいカンファレンスのために (カンファレンスの現状、問題の確認、望ましくないカンファレンスになる要因、現状の問題に対する解決策)</p>	<p><b>【講師】</b> 埼玉県立大学保健医療福祉学部 看護学科 学科長・教授 國澤 尚子</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p><b>24. 摂食嚥下障害看護</b></p> <p>摂食嚥下障害をもつ人への看護</p> <p>1日間 9月4日(水)</p> <p>【ラダー 新人～Ⅱ】</p> <p>【研修コード】ICE25</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>摂食嚥下のしくみとその障害をもつ人を理解し、経口摂取を促進するための看護について学ぶ。</p> <p>老年人口も増加し、摂食嚥下に問題を持つ人も多くなっています。この研修では、人間にとっての食べる意義や摂食嚥下のメカニズムから嚥下評価、訓練の在り方、口腔ケア、他職種間連携まで、摂食嚥下に関する幅広い知識を学習します。摂食嚥下に関して講師の様々な工夫や体験も参考になる研修です。高齢者介護施設等に勤務する看護職にも受講いただきたい研修です。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口から食べることは</li> <li>・摂食嚥下機能評価</li> <li>・口腔ケア</li> <li>・間接訓練(基礎訓練)、直接訓練(摂食訓練)</li> <li>・リスク管理</li> <li>・事例提供と意見交換</li> </ul>	<p>【講師】</p> <p>特定医療法人研精会 稲城台病院 食支援センター・摂食嚥下障害認定看護師 元 常葉大学健康科学部看護学科 老年看護学 講師 小澤 公人</p> <p>【講師・演習支援者】</p> <p>摂食嚥下障害看護認定看護師 2名</p>
<p><b>25. 糖尿病看護</b></p> <p>糖尿病の基礎知識と看護のコツ～糖尿病と折り合いをつけその人らしく暮らすために～</p> <p>2日間 ①9月10日(火) ②10月8日(火)</p> <p>【ラダー I～Ⅲ】</p> <p>【研修コード】ICE26</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>糖尿病の基礎知識と最新情報(治療)について学び、病気の状態や治療を理解した上で、その人らしい療養生活とは何かを考えることができる。糖尿病を持ちながら生活している人が、病気と折り合いを付けその人らしい療養生活を見つけるために必要な看護を学ぶ。</p> <p>事例演習を通して受講者それぞれが考える病気と折り合いをつけるとは何か、その人らしい療養生活とは何かについて意見交換をして今後の看護実践に活かせるように考えを深めます。糖尿病看護について再学習したい方、初学者からベテランまでを対象とした研修です。糖尿病療養者への看護に対する苦手意識がある方は特に受講をお勧めします。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病の基礎知識と最新治療</li> <li>・糖尿病患者への看護 Part1 &lt;技術的な視点&gt; 知っていて当たり前!糖尿病治療毎の看護のコツ</li> </ul> <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病患者への看護 Part2 &lt;患者理解の視点&gt; 病気と折り合いをつけ、その人らしく暮らすための看護の視点 足病変予防 いきいきモデルについて</li> </ul>	<p>【講師】</p> <p>山梨県立中央病院 臨床研修センター部長 日本糖尿病学会専門医・指導医 滝澤 壮一</p> <p>【講師・演習支援者】</p> <p>山梨県立中央病院 慢性疾患看護CNS 須森 未枝子</p>
<p><b>26. メンタルヘルス</b></p> <p>看護職のメンタルヘルス～自分のこころをケアしよう～</p> <p>1日間 9月12日(木)</p> <p>【ラダー 新人～Ⅱ】</p> <p>【研修コード】ICE27</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>自分のこころの状態を知り、自分なりのメンタルヘルスを考え少しでもこころの重りを軽くしていきませんか?</p> <p>看護職は、人々のいのちや健康、生活に関わる仕事です。そのため、たくさんのやりがいがある反面、様々なストレスも多いと言われていています。看護職は、コロナ発生以前にも増して、多くの業務や対応を求められ、心身ともに疲弊している状態です。今こそメンタルヘルスについて学び、「もうダメ・・・」とこころが折れてしまう前に、自分のこころの状態を少し見つけてみませんか? 所属・経験年数・職種を問わず、すべての看護職を対象とした研修です。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスとは、ストレス要因、ストレス反応</li> <li>・ストレスに関するセルフモニタリング</li> <li>・看護職のメンタルヘルスの傾向</li> <li>・ストレスマネジメント</li> <li>・マインドフルネスとセルフ・コンパッションの理解と実践</li> <li>・語り合い(現場で感じている事、私のストレスコーピング、研修での気づき等) 等</li> </ul>	<p>【講師・演習支援者】</p> <p>山梨県立大学看護学部 地域・精神健康支援看護学 准教授 野澤 由美 山梨厚生病院 精神看護専門看護師 志村 聡子 日下部記念病院 精神看護専門看護師 春日 飛鳥</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p><b>27. 排泄ケア</b> <b>NEW</b></p> <p>いくつになっても気持ちの良い排泄(排尿・排便)をするために～排泄の基礎知識、看護職のアセスメントとケア・支援～</p> <p>1日間 9月13日(金)</p> <p>【ラダー 新人～Ⅱ】</p> <p>【研修コード】ICE28</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>排泄(排尿・排便)の基本知識を学び、いくつになっても気持ちよく排泄するための看護ケアについて理解する。</p> <p>排泄障害の要因は様々です。消化器や泌尿器の疾患だけでなく、食事や筋力、神経因子、薬物の影響、認知機能や精神状態、環境の影響など様々な要因が考えられます。排泄障害は多くの患者が抱える問題であり、QOLにも大きく影響します。より気持ちよい排泄をしていただく為のケアの知識や技術を学びます。</p> <p>病院の看護師だけでなく訪問看護師や高齢者施設で働く看護師にもおすすめの研修です。</p>	<p>【講師】</p> <p>合同会社プラスぼぼ代表 訪問看護ステーションやのいえ代表 コンチネンスアドバイザー うんこ文化センター おまかせうんちっ代表 保健学博士</p> <p style="text-align: right;">榎原 千秋</p>
<p><b>28. 急性期看護 (呼吸器・循環器)*</b></p> <p>呼吸器ケアと循環器ケア ～呼吸不全・心不全についての知識と技術の向上を目指して～</p> <p>3日間 ①9月25日(水) ②10月11日(金) ③11月1日(金)</p> <p>【ラダー I～Ⅲ】</p> <p>【研修コード】ICE29</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>呼吸不全、心不全のある患者のアセスメントをし、異常を早期発見して対応できる知識と技術を学ぶ。</p> <p>呼吸不全や心不全の看護ケアの向上を目指した研修です。解剖生理、呼吸器系・循環器系のフィジカルアセスメント、呼吸不全・心不全のリハビリテーション、最終日には肺や気管の位置確認、呼吸介助法、聴診法、ポジショニング、体位排痰法等を認定看護師や専門看護師、理学療法士の先生方から学びます。“明日から即、実践に活かせる”研修です。</p>	<p>【講師・演習支援者】</p> <p>富士吉田市立病院 集中ケアCN 山口 昂 甲府共立病院 集中ケアCN 望月 ひとみ 山梨県立中央病院 慢性呼吸器疾患看護CN 乙黒 恵子 富士吉田市立病院 急性・重症患者看護CNS 渡邊 泰子 帝京科学大学 医療科学部 理学療法科 講師 山田 洋二</p> <p>【演習支援者】</p> <p>上記講師のほか 県内病院慢性呼吸器疾患看護CN 1名 県内病院リハビリテーション科 室長・チーフ・主任等 3名</p>
<p><b>29. リフレクション</b></p> <p>看護リフレクション ～看護の質を高める看護実践・体験の語り～1日間</p> <p>9月28日(土) 9:30～16:00</p> <p>【受講対象】 経験3年目以上10年目ごろまでの中堅看護職</p> <p>【ラダー I～Ⅲ】</p> <p>【研修コード】ICE30</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>看護リフレクションの体験を通し、日々の看護体験や実践を意識的に振り返り、看護の価値や看護観を育む意義、取り組み方を理解する。</p> <p>リフレクションは、「熟考すること、内省すること」の意味があり、自己の体験を振り返り、自己の考えや行動を深く省みる事です。リフレクションは、自己理解の促進、習慣的行為からの脱却、人間的成熟、状況の概念化の力の育成等につながるといわれています。看護職は、日々忙しい業務の中で、「あれ？」という事が流れていってしまっている現状もあります。この研修では、自分の体験したことを客観的に振り返り、看護ケア意味や、あり方を見つめ直ししていく意義や考え方を学びます。</p>	<p>【講師】</p> <p>順天堂大学 保健看護学部成人看護学 大学院医療看護学研究科 慢性看護学 教授 東 めぐみ</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p><b>30. 外来看護</b></p> <p>外来における在宅療養支援能力向上のための研修</p> <p>※日看協eラーニング講義個人受講+県協会演習</p> <p>1日間 10月30日(水) 9:30～12:15</p> <p><b>【対象】</b> 病院の外来、診療所に勤務している或いは勤務の予定のある看護職員</p> <p><b>【ラダー II以上】</b></p> <p><b>【研修コード】</b> ICE31</p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 外来看護職が地域における自施設の外来が果たすべき役割に基づき、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得する。習得した知識をもとに、外来看護職として在宅療養支援を実践することができる。</p> <p><b>【主な内容(講義・演習)】</b> ・外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向に基づく外来看護職の役割 ・外来における在宅療養支援 ・在宅療養を支える地域連携とネットワーク ・在宅療養患者(外来患者)の意思決定支援 ・在宅療養者(外来患者)を支える社会資源 ・山梨県における医療・看護を取り巻く状況等</p> <p>※eラーニング受講後から県協会演習実施日までの間に事前課題があります。</p>	<p><b>【講師】</b> 日本看護協会 吉川 久美子 慶應義塾大学 永田 智子 常磐大学 吉田 千文 東京女子医科大学 藤井 淳子 聖カタリナ病院 松本 明子 山梨県医師課担当者</p> <p><b>【演習支援者】</b> 2024年度訪問看護等在宅ケア推進委員</p>
<p><b>31. 退院支援 *</b></p> <p>地域包括ケアシステムにつなげる入退院支援～住み慣れた地域で暮らし続けるために～</p> <p>2日間 ①10月31日(木) ②2025年2月5日(水)</p> <p><b>【ラダー II～Ⅲ】</b></p> <p><b>【研修コード】</b> ICE32</p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 入退院支援の基本的知識を学び、実践に取り組み、その経過や成果を報告することで、今後の更なる課題を見出す。</p> <p>病院と地域の連携についての基本的な考え方やノウハウ、一連のプロセスを学んだ後、日々の勤務の中で、患者さんの退院支援でアセスメントすべきことは何か、大切にすべきことは何か、今の自分が最大限できることは何かを常に意識しつつ、看護師以外の他職種ともチームワークを高め合いながら、退院支援を実践してみましょう。※1日目と2日目の間に実践レポートの課題があります</p> <p><b>【主な内容(講義・演習)】</b> 1日目 ・退院支援マネジメントの基本 ・地域包括支援センターにおける保健師の役割と実践 ・訪問看護師の役割と在宅療養の実際 ・実践レポートの書き方 2日目 ・実践事例の検討</p>	<p><b>【講師】</b> 山梨県立大学看護学部 学部長 地域・精神健康支援看護学 教授 泉宗 美恵 他</p> <p><b>【演習支援者】</b> 2024年度訪問看護等在宅ケア推進委員</p>
<p><b>32. 小児看護 *</b></p> <p>子どもの心理発達と虐待予防</p> <p>1日間 11月7日(木)</p> <p><b>【ラダー 新人～Ⅱ】</b></p> <p><b>【研修コード】</b> ICE33</p>	<p><b>【研修のねらい】</b> 子どもの目線で成長や心理を理解し、子どもの養育環境や虐待予防や虐待を考えられる児の支援や対応を考える。</p> <p>子どもの虐待の報告件数の増加し、児童虐待による死亡事例も後を絶たない状況です。虐待を受けている子どもは、身体的発達だけでなく心理的発達も影響を受け、リストカットなど様々な問題も抱えやすいとも言われています。医療機関や市町村などの行政機関で働く看護職は、児童虐待や虐待を疑わせる事例に関わらなければならない場合もあります。看護職が子どもの心理的発達や、養育環境の影響などの知識を持ち、子どもの虐待への支援への示唆を得る機会となるよう企画しました。</p> <p><b>【主な内容(講義・演習)】</b> ・子どもの心理発達の特徴 ・アタッチメントと養育支援 ・虐待を受けた子どもに見られる状態とその対応 ・虐待予防の家族支援 ・山梨県の虐待の状況 ・子どもの虐待に関係する看護師の役割 ・虐待が疑われる時の対応 ・虐待児に見られる身体所見 (子どもの視野体験を含む) 等</p>	<p><b>【講師】</b> こころの発達総合支援センター 次長・医師 金重 紅美子</p> <p>山梨赤十字病院 長田 栄子 市立甲府病院 小泉 恵理子 上記2名、小児救急看護認定看護師</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<b>33. 看取りの看護</b> 希望する最期を迎えるための看護職の役割 1日間 11月21日(木) 【ラダー I～Ⅲ】 【研修コード】ICE34	<b>【研修のねらい】</b> 看取りについて理解を深め、本人が希望する最期を迎えるための意思決定支援や多職種連携における看護職の役割を学ぶ。 病院、在宅を問わず、本人が希望する最期を迎えるために、多職種連携のカギとなる看護職の役割は大きく、そのため看取りについての理解を深め、患者・家族に寄り添いながら支援する能力の向上を意図して企画しました。もしバナゲームを通して、自己の価値観等を見つめる機会になります。病院、在宅を問わず、看取りについての理解を深められる研修です。 <b>【主な内容(講義・演習)】</b> ・在宅療養支援、診療所医師の立場から ・今日の看取りの現状と課題 ・多職種連携 ・事前に寄せられた課題や事例に関する意見交換 ・アドバンスケアプランニング(ACP)とは ・協働意思決定における問題 ・もしバナゲーム™	<b>【講師・演習支援者】</b> 在宅療養支援診療所 上條内科クリニック 院長 上條 武雄 山梨県立大学看護学部 成人・老年実践応用看護学 講師 高岸 弘美
<b>34. 褥瘡ケア</b> 褥瘡ケアの基本的知識 ～予防からケア計画の立案まで～ 2日間 ①11月25日(月) ②12月9日(月) 【ラダー I～Ⅱ】 【研修コード】ICE35	<b>【研修のねらい】</b> 臨床における褥瘡に関する基本的知識を理解し、褥瘡を予防する方法を学ぶ。褥瘡経過評価スケールを活用して、個別的なケア計画が立案できる。 褥瘡予防の基本的知識やずれ対策・圧再分散など、褥瘡を発生させないことに重点を置いた学習をし、それらの知識を活かしつつ、実際の褥瘡事例をもとに具体的なケア計画の立案を行います。実践力の獲得が期待できます。 <b>【主な内容(講義・演習)】</b> 1日目 ・褥瘡とは、褥瘡発生機序 ・褥瘡のリスクアセスメント、体圧分散マットレス ・DESIGN-R® からDESIGN-R® 2020へ ・褥瘡経過評価スケールの点数の付け方、評価方法 2日目 ・事例を用いたケア計画の立案 ・DESIGN-R® 2020を用いた採点、評価 ・スキンケア、背ぬき、ポジショニング ・外用薬、ドレッシング材、衛生材料	<b>【講師】</b> 山梨県立中央病院 院長補佐 塚本 克彦 <b>【講師・演習支援者】</b> 市立甲府病院 新井 佳那子 山梨県立中央病院 志村 友紀 上記2名 皮膚・排泄ケアCN
<b>35. 准看護師対象 *</b> 看護過程の基本を学ぶ 2日間 ①12月2日(月) ②12月5日(木) 【受講対象】 准看護師 【研修コード】ICE36	<b>【研修のねらい】</b> 看護過程の意義、考え方を学まなび、より良い看護実践につなげる知識・技術を身につける。 准看護師が看護師と協働して看護を行う事やチーム医療を行うためには、看護過程の思考の概要を理解しておくことが大切です。現場の准看護師からは、情報やアセスメントが適切に書けないという声が多々聞かれています。困っていることや苦手とすることをじっくり学び、今実際に行っていることをより良い看護実践にしていける学びができる研修として企画しています。 <b>【主な内容(講義・演習)】</b> ・看護過程意義 ・看護過程のプロセス ・事例の中から情報の整理の考え方 ・関連図の作成と全体像把握、アセスメントの考え方 ・看護問題の抽出、統合、問題の明確化 ・看護計画立案の考え方 ・看護記録に関すること	<b>【講師】</b> 帝京山梨看護専門学校 校長 棚本 知砂美

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p><b>36. アンガーマネジメント</b></p> <p>看護職のためのアンガーマネジメント ～感情コントロールを身につけ、怒りとうまく付き合うために～</p> <p>1日間 12月17日(火)</p> <p>【ラダー I～Ⅳ】</p> <p>【研修コード】ICE37</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>自分自身の怒りの感情を上手に受け止めながら働くための知識や考え方を学ぶ。</p> <p>「怒り」とは何か、感情のコントロール方法、看護の現場で怒りやストレスを上手く受け止めながら働く方法など、アンガーマネジメントについて広く学びます。日々の看護の場面以外でも、プライベートでの自身の怒りとどう向き合うかについても考えられる研修です。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怒りとは、生じるメカニズム</li> <li>・怒ることのメリット、デメリット</li> <li>・アンガーマネジメントとは</li> <li>・自分のタイプ、自分のトリガーを知る</li> <li>・上手な叱り方、悪い叱り方 等</li> </ul>	<p>【講師】</p> <p>訪問看護ステーション緑風 管理者 精神科認定看護師 日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメトファシリテーター 渡邊 恭佑</p>
<p><b>37. 看護倫理 *</b></p> <p>看護職者としての倫理的感性を磨こう！</p> <p>1日間 2025年1月16日(木)</p> <p>【ラダー I～Ⅱ】</p> <p>【研修コード】ICE38</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>看護倫理に関する基礎的知識を学び、倫理的問題を解決するための考え方を理解する。</p> <p>看護実践において倫理的問題に遭遇することは多いです。看護倫理は、看護を実践する上で基盤となります。看護倫理を学ぶことで、倫理的感受性を高め、より患者に寄り添った看護の実践や自己の看護観を見つめる機会となります。すべての経験年数の看護職(保健師・助産師・看護師・准看護師)を対象として開催します。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護倫理とは</li> <li>・看護倫理に関連する理論</li> <li>・患者・家族の意思決定のプロセス</li> <li>・臨床で直面する倫理的問題</li> <li>・事例検討(演習)</li> </ul>	<p>【講師】</p> <p>山梨県立大学看護学部 成人・老年実践応用看護学 助教 慢性疾患看護専門看護師 武田 真弓</p>
<p><b>38. アレルギー</b> <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">NEW</span></p> <p>もう一度アレルギーについて学びませんか? ～アレルギーの基礎的理解と予防から重症化対策まで～</p> <p>1日間 2025年1月8日(水)</p> <p>【ラダー 新人～Ⅱ】</p> <p>【研修コード】ICE39</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>アレルギーの基本的な病態、呼吸器系・皮膚系・食物・耳鼻科系のアレルギーの病態・治療、発症や重症化予防の対応や支援について理解する。</p> <p>アレルギーは、食物・ほこり・花粉・虫など通常は体に大きな害を与えない特定の物質に対しする過剰な免疫反応によって引き起こされます。現在、わが国では2人に1人がアレルギーを持っているといわれ、患者数は増加傾向です。国からも「アレルギー疾患対策基本法」等も出され、山梨県でも第8次地域保健医療計画に位置付けられています。アレルギーは、その発症や重症化予防に食生活・環境・生活様式が関係します。看護職として正しい知識を持っていることが求められます。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーの基本的病態や検査・治療</li> <li>・山梨県のアレルギーの現状と対策</li> <li>・耳鼻科系アレルギーとその対応</li> <li>・喘息などの呼吸器系アレルギーとその対応</li> <li>・食物アレルギーとその対応</li> <li>・皮膚アレルギーとその対応</li> <li>・エピペンの使用法と留意点(演習)</li> </ul>	<p>【講師】</p> <p>山梨大学医学部 頭頸・耳鼻咽喉科診療科長・教授 櫻井 大樹 山梨厚生病院 小児科部長 池田内科小児科医院 院長 池田 久剛</p>

## 分類2 看護・医療政策に関する研修

(\*は山梨県委託事業)

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<b>39. 認知症看護</b> 2024年度 JNA 収録 DVD 研修 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 ※認知症ケア加算2, 3対応 2日間 DVD 視聴 ①9月5日(木) ②9月6日(金) いずれも9:30～16:30 【研修コード】2CE01	<b>【到達目標】</b> 認知症高齢者における国の施策や医療の現状を理解することができる。入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を理解することができる。 <b>修了証の発行には、全時間の受講が必須です。</b> ※DVD研修については、資料印刷を外部委託する都合上、受講決定後のキャンセルはできませんのでご承知ください(受講料をいただきます)。	<b>【講師】</b> 国立がん研究センター先端医療開発センター 小川 朝生 他 <b>【演習支援者】</b> 認知症看護認定看護師 1名
<b>40. 認知症ケア(複数日)*</b> 変わる！ あなたの認知症看護 3日間 ①11月9日(土) ②12月18日(水) ③1月15日(水) ※認知症ケア加算2, 3対応 【研修コード】2CE02	<b>【研修のねらい】</b> 認知症の方1人ひとりに個性のある看護を実践するための認知症看護の基礎的知識・技術・態度を習得する。 認知症高齢者の方との関わりやコミュニケーションに悩みを抱える看護職者を対象にしています。認知症看護のコツやヒント、やりがいや魅力を理解するとともに、認知症看護が“わかり”、明日からのご自身の認知症看護が“変わる”ことを目指します。 <b>修了証の発行には、全時間の受講が必須です。</b>	<b>【講師】</b> 日下部記念病院 院長 久保田 正春 日下部記念病院 精神保健福祉士 精進 直幸 山梨県立大学 看護実践開発研究センター 主任教員 狩野 英美 山梨赤十字病院 乙顔 正美 上記2名、認知症看護認定看護師 <b>【演習支援者】</b> 認知症看護認定看護師 1名

## 41. 医療安全管理者養成研修

〔問い合わせ先〕日本看護協会ホームページ

※ Web 申し込み 申込期間：2024年5月8日(水)10時～5月17日(金)12時

公益社団法人日本看護協会が主催する2024年度医療安全管理者養成研修が開催されます。この研修は、＜医療安全対策加算対応＞です。最終日は集合研修で行います。

※詳細については日本看護協会ホームページの「医療安全管理者養成研修」をご参照ください。

配信期間	集合研修開催日	目的	対象者
<b>【オンデマインド研修受講期間】</b> 2024年7月1日10時～集合研修開催5日前まで ※2025年1月31日まで復習受講可能 <b>【オンデマインド講義時間】</b> 35時間	12月14日(土) 9:30～15:30 5時間 (休憩1時間含む) 会場：山梨県看護協会 <b>【研修コード】</b> 2CE03	医療の質の向上と安全確保を目的とした、医療安全管理業務を遂行するための基本的な知識と実践能力を習得する	<b>【以下の3要件をすべて満たす者】</b> 1) 医療安全管理者または1年以内に医療安全管理者になる予定の者 2) 上司の推薦があること 3) 2024年度に開催する研修プログラムを全時間受講可能なこと 上記要件のほか、看護師長に相当する職位以上にあることが望ましい

## 42. 新災害支援ナース養成研修(厚生労働省委託事業)

開催期間	研修目的	教科目	対象者	定員(名)	受講形態	受講料	申込期間
日程調整中 (秋頃予定)  【研修コード】 2CE04	災害支援看護業務及び新興感染症支援看護業務に関する知識及び技術を習得する	<b>【総論】</b> 災害・感染症に係る応援派遣の対応 <b>【各論・災害】</b> ・災害医療の基礎知識 ・災害時に求められる看護支援活動 ・災害時の感染対策 ・災害時の心理的变化とこころのケア ・災害時の看護職の活動事例 <b>【各論・感染症】</b> ・新興感染症の基礎知識 ・新興感染症の治療と観察のポイント ・新興感染症の看護、集中治療管理、重症患者の看護 等 ※演習受講には、eラーニング講義の修了が条件になります。	災害及び新興感染症の発生時に他の医療機関等に派遣されて、災害支援看護業務に従事することを旨とする者	40	eラーニング講義 個人受講＋ 県協会演習  オンデマインド 20時間(4日間) ＋ 集合研修 10時間(2日間)	無料	システム 申込期間 7/1～7/19

☆新災害支援ナース養成研修の詳細は、山梨県看護協会ホームページをご覧ください。

## 分類3 人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修

(\*は山梨県委託事業)

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<b>43. 教育 *</b>  <b>【研修担当者・教育委員対象】</b> 施設内研修企画に必要な基礎知識～研修企画のプロセスを学ぼう～  2日間 ①7月26日(金) ②8月16日(金)  <b>【研修コード】</b> 3CE01	<b>【研修のねらい】</b> 効果的な施設内教育を行うための研修企画のプロセスを学び、研修を企画できる。  成人学習者の特徴や継続教育の必要性など基本的要素を学んだ後、自部署や自施設の課題をもとに、研修の計画案の作成から評価案の作成までの一連の流れを、講師の助言やペアでの意見交換を通して丁寧に学びます。研修を企画することの奥深さや自分の力で必要な研修を考える楽しさを実感できます。	<b>【講師】</b> 日本赤十字看護大学看護学部 看護管理学 教授 安部 陽子
<b>44. ティーチング・コーチング</b>  ティーチング・コーチングを活用したスタッフ指導～自立したスタッフを育成するために～  1日間 2025年3月2日(日)  <b>【研修コード】</b> 3CE02	<b>【研修のねらい】</b> スタッフ指導におけるティーチング・コーチングの基本を学び、体験を通して意識と行動を変容できる関わり方を習得する。  褒めることや叱ることは、本来のティーチング、コーチングではありません。褒められなくても、叱られなくても、たとえこちらの助言を無視されようとも、スタッフの自立度を見極め、進むべき道を目指す、決してあきらめない…。新人看護職と関わるプリセプター等、スタッフ教育に携わる経験年数3年目以上の看護職を対象とした研修です。	<b>【講師】</b> 東京女子医科大学 統合教育学修センター 准教授 諏訪 茂樹

## 分類4 看護管理者を対象とした研修

(\*は山梨県委託事業)

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<b>45. 中間管理者 *</b> <b>【新任副看護師長(主任)対象】</b> 看護管理の第一歩 4日間 ①5月28日(火) ②6月6日(木) ③6月17日(月) ④7月17日(水) <b>【受講対象】</b> 新任副看護師長(主任)、今後看護管理者としての役割を担う者 <b>【研修コード】</b> 4CE01	<b>【研修のねらい】</b> 組織における副看護師長(主任)の立場・役割を理解する。問題解決思考プロセスを学びながら、論理的思考を身に付け看護管理者として、現場の問題解決に取り組む。 副看護師長や主任に着任した方を対象とした研修です。看護管理とは何か、看護管理者としての心構えや役割、魅力について学びます。現場の問題を整理して“あるべき姿を目指し、現場を動かす”論理的な解決思考とスキルについて学び、今後の看護管理に活かして行きます。 ※研修終了後、自部署或いは自施設において、共有を目的に取り組みについて発表をしていただきます。 <b>【主な内容(講義・演習)】</b> 1日目 ・組織とは、看護管理とは、看護管理に必要なマネジメント ・看護サービス、目標管理、業務改善 ・副看護師長、主任としての役割 ・体験報告 等 2日目午前と3日目 問題解決思考のプロセス ・問題とは何か ・問題の構造 ・問題点の同定 ・原因分析 ・解決策 等 2日目午後(演習) ・午前の講義をもとに自部署の問題の同定 4日目 ・問題に対する対応策の発表	<b>【講師】</b> 市立甲府病院 看護部長 小石川 好美 山梨大学大学院総合研究部医学域 臨床医学系 特任教授 山梨大学医学部附属病院 副経営管理部長 小林 美亜 <b>【演習支援者】</b> 認定看護管理者 3名 <b>【実践報告者】</b> 1名
<b>46. 看護補助者活用推進</b> 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 ※診療報酬加算対象研修 ※日本看護協会収録講義+県看護協会演習 1日間 7月24日(木) 9:30～16:00 <b>【受講対象】</b> 主任・副師長・師長以上の看護管理者 <b>【研修コード】</b> 4CE02	<b>【研修のねらい】</b> 効率的な業務運営と良質な看護サービスの提供を目的とした看護補助者の業務範囲や教育および就労環境について理解し、自施設における看護補助者体制整備の一助となる。 午前は、日本看護協会講師による看護補助者の活用に関する制度の理解、職員との連携と業務整理、雇用形態と処遇等、育成・研修・能力評価の講義です。午後は、午前中の講義をふまえ、看護補助者体制整備に関する課題への対策案の作成を行います。山梨県内施設の受講者と情報交換しながら、グループワークを行い、職場環境改善の一助になることを期待しています。 修了証の発行には、全時間の受講が必須です。	<b>【講師】</b> 日本看護協会 理事 等 <b>【演習支援者】</b> 各病院の認定看護管理者・看護管理者 8名程度

## 分類5 資格認定教育

### 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル

開催期間	教育目的・到達目標・教科目	受講要件	受講形態	定員・受講料	申込期間
10/1(火) ～ 11/29(金) 19日間 <b>【研修コード】</b> 5CE01	<b>【教育目的】</b> 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。 <b>【到達目標】</b> 1. ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。 2. 組織的看護サービスの提供上の諸問題を客観的に分析できる。 3. 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。 <b>【教科目】</b> ・ヘルスケアシステム論Ⅰ ・組織管理論Ⅰ ・人材管理Ⅰ ・資源管理Ⅰ ・質管理Ⅰ ・統合演習Ⅰ (全111時間) ・特別講義(6時間)	1. 日本国の看護師免許を有する者。 2. 看護師免許を取得後実務経験が通算5年以上ある者。 3. 管理的業務に関心がある者	対面・オンライン(zoom)併用研修	<b>【定員】</b> 50名 <b>【受講料】</b> 会員 91,000円 非会員 136,500円	システム申込期間 7/1(月) ～ 7/20(土)

☆ファーストレベルの詳細は、山梨県看護協会ホームページをご覧ください。

ファーストレベルフォローアップ研修

開催日	ねらい・目的・内容	受講要件	受講形態	定員・受講料	申込期間
2025年 2月頃  【研修コード】 5CE02	【ねらい】 1. ファーストレベル修了後、自己の変化について話し合いを通じ振り返り、主体的に自ら課題を発見する力を養う。 2. 「看護管理者」として目指すべき姿がイメージできる。  【内容】 講義、グループディスカッション 等	2023年度までに ファーストレベルを 修了した方	対面	【定員】 30名  【受講料】 無料	12月頃

☆ファーストレベルフォローアップ研修の詳細は、山梨県看護協会ホームページをご覧ください。

その他 資格認定者関係・交流会・その他の研修会

(問い合わせ先) 教育部 TEL 055-253-5050 (直通) FAX 055-236-6060

事業名	実施期間	ねらい	対象者・定員
資格認定者関係	専門看護師交流会	12月	山梨県内における専門看護師の活動を周知するとともに、役割の理解と専門看護師間の情報共有、連携支援を目的とする  【対象】 専門看護師、看護管理者、専門看護師に興味のある方 【定員】 制限なし
	認定看護師・特定行為研修修了看護師研修会	年2回開催 1回目：8月頃 2回目：2025年2月頃	看護現場における看護ケアの広がりや質の向上を図るため、認定看護師、特定行為研修修了看護師の活躍が有機的な連携のもとに活動できることを目的とする  【対象】 認定看護師、特定行為研修修了看護師、看護管理者 【定員】 制限なし
	認定看護管理者交流会	2025年1月頃	認定看護管理者として、地域全体の看護の質向上においての役割発揮について考え、また認定看護管理者、看護管理者との情報交換の機会とする  【対象】 認定看護管理者、看護管理者 【定員】 制限なし
交流会	障害福祉施設に勤務する看護職者の交流会	2025年1月頃	障害福祉施設に勤務する看護職が、日頃の業務を振り返り、看護専門職としての役割を見出すとともに、他施設の看護職との交流を深める  【対象】 障害福祉施設に勤務する看護職 ※経験年数は不問、非会員も可 【定員】 30名
	外国人看護職者の交流会	8月頃	医療現場で働く外国人の看護職、看護補助者間の情報交換、医療現場や日常生活での悩みなどを話すことにより、安心して就労できるための機会とする  【対象】 現役外国人看護職、外国人看護補助者、看護管理者等 【定員】 制限なし
その他の研修会	高齢者権利擁護等実務者研修	10月頃 2日間	地域で高齢者がよりよく生きるために、施設における看護職の役割を理解し、高齢者の権利擁護に必要な援助等の実践につなげるための知識・技術を習得する  【対象】 介護施設等の看護職員、看護管理者または施設の責任者 【定員】 30名
	BLSプロバイダーコース	①9月7日(土) ②2025年2月15日(土) *同内容を2回開催	日本ACLS協会との共催研修 心肺停止に遭遇する可能性の高い方が一次救命処置を理解し、自身の安全を確保した上で、人工呼吸を含む心肺蘇生およびAEDの操作を行うことができるようトレーニングを行う ※申し込みは日本ACLS協会にお申し込みください。
	PEARSプロバイダーコース	2025年2月15日(土)	日本ACLS協会との共催研修 小児領域の初心者向けに、患児の異常事態を急変に至る前に発見するトレーニングを行う ※申し込みは日本ACLS協会にお申し込みください。

**トータル・サポート・マネジャー養成研修**

〔問い合わせ先〕山梨県訪問看護支援センター  
TEL 055-225-3035 (直通) FAX 055-222-5988

山梨県看護協会では、山梨県から委託を受け、平成29年度から医療的ケアがより必要な在宅療養者への支援や退院可能な入院患者の在宅移行支援等を行う中で、在宅医療においてチーム医療の力を最大限に発揮させ、医療と介護の連携を推進することができる訪問看護師の養成に向けて次の研修を行っています。

事業名	実施期間	ねらい	対象者・定員
トータル・サポート・マネジャー (TSM) 養成研修	8月～12月 (予定)	在宅医療推進に向け、チーム医療の力を最大限に発揮させるため、多職種連携の医療分野の調整役となる「トータル・サポート・マネジャー」を養成し、効果的・効率的な在宅医療の提供を図る。	訪問看護ステーション及び訪問看護を実施している診療所等の看護師 (経験5年以上、その他要件有り) 一部公開講座有り 定員：10名

**訪問看護推進研修・交流会**

〔問い合わせ先〕山梨県訪問看護支援センター  
TEL 055-225-3035 (直通)

山梨県訪問看護支援センターは、平成27年度山梨県から訪問看護推進拠点事業の委託を受け、訪問看護師の養成・育成、確保・定着推進を目的に下記の研修を行っています。

※2024年3月末日現在の研修予定のため、研修内容・日程等が変更される可能性があります。変更の場合は、山梨県看護協会ホームページにてお知らせします。

研修名	実施日時・期間	ねらい・内容	対象者・定員
新人訪問看護師教育研修	4月～2025年3月	新卒訪問看護師、医療機関等から転職し訪問看護が未経験である看護師 (潜在看護師を含む)、訪問看護師となつて経験が浅い看護師が、訪問看護に必要な知識と技術を習得する。 研修内容：病院研修、介護保険施設研修、訪問看護ステーション実習 等	対象：採用2年目までの新人訪問看護師 定員：適宜
訪問看護師養成研修会	6月～12月 9：30～16：30 初日のみ9：00～	社会的要請と在宅医療のニーズに対応した、質の高い訪問看護を実践する看護師を養成する。 研修内容： ・eラーニングによる研修 ・集合研修 ・地域包括支援センター・訪問看護ステーション等の実習	対象： ①訪問看護に従事している看護師 ②これから訪問看護を始めようとする看護師 ③訪問看護に興味、関心のある看護師 定員：25名
訪問看護継続研修	1回目：7月 2回目：2025年1月 1日間 ※2回開催 9：30～16：30	訪問看護を実施する上での様々な課題の解決を図る。在宅において、対応が困難になる行動を理解して、療養者およびその家族の支援を学ぶ。 研修内容： ・パーソナリティ障害のある人への支援 ・他者との関わりが苦手な人への関わり 等	対象：訪問看護に従事している看護師 定員：各20名
訪問看護管理者研修	7月 1日間 9：30～16：30	在宅ケアの充実に向けて、訪問看護事業所の管理者の管理・運営能力を高め、あわせて訪問看護事業所全体の質の向上を図る。 研修内容： ・訪問看護ステーションにおける労務管理 ・訪問看護ステーションにおけるハラスメント対策	対象：訪問看護事業所の管理者および準ずる訪問看護師 定員：20名

研修名	実施日時・期間	ねらい・内容	対象者・定員
訪問看護ステーション・医療機関に勤務する看護師の相互研修	①7月 9:30～16:30 ②③④ 8月～10月中の 3日間 ※実習 ⑤11月 9:30～16:30 5日間	訪問看護事業所と医療機関に勤務する看護師の相互交流による研修を行うことにより、訪問看護師は最新の知識及び医療技術を習得し、医療機関の看護師は訪問看護について習得し、相互の専門性を理解し、入退院支援における看護の連携や協力のあり方について学び、訪問看護の推進を図る。 研修内容： ・集合研修 ・病院または訪問看護ステーション実習	対象：訪問看護事業所勤務の看護師および医療機関等勤務の看護師 定員：各10名
訪問看護を目指す人の交流会	1回目 9月 2回目 2025年2月 各0.5日間 ※2回開催	訪問看護に関心のある看護師（潜在看護師を含む）や看護学生が、訪問看護に関して聞きたいことや知りたいことについて現役の訪問看護師から直接聞くことで、訪問看護への関心をさらに深める機会とする。	対象：看護師（経験年数や年齢不問） 看護学生（学年不問） 定員：各15名
新人訪問看護師教育研修（基礎研修）	① 9月 ② 10月 いずれも 9:30～16:30 2日間	新卒訪問看護師、医療機関等から転職し訪問看護が未経験である看護師（潜在看護師を含む）、訪問看護師となつて経験が浅い看護師が、訪問看護に必要な基礎的知識を習得する。 研修内容： ・訪問看護概論 ・フィジカルアセスメント ・リスクマネジメント ・接遇 ・事例検討	対象：訪問看護未経験で採用1～3年目の訪問看護師 定員：20名
新人訪問看護師指導者研修	① 10月 ② 2025年2月 いずれも 13:30～16:30 2日間	新人訪問看護師の指導者の役割を理解し、指導や評価等を行うための知識・技術・態度を習得する。 研修内容： ・新人訪問看護師指導者の役割、必要なスキル ・新人訪問看護師育成の実際、展開方法 ・新人訪問看護師指導の実施評価（演習）	対象：新人訪問看護師の育成に携わっている者または今後、新人訪問看護師育成の役割を担う者 定員：20名
訪問看護ステーションに勤務する看護師の交流実務研修	① 11月 9:30～12:30 ②③ 11月～1月中の 2日間 ※実習 ④ 2025年1月 9:30～12:30 4日間	訪問看護管理者を対象に、最新の在宅医療の知識と技術を習得するとともに、管理者が相互交流することで、事業者間のネットワークの構築や訪問看護ステーションの均てん化を図る。 研修内容： ・訪問看護事業所の管理者に求められる役割・能力 ・訪問看護ステーションにおける看護管理（実習） ・自己の課題の抽出と課題解決策の検討（演習）	対象：1～3年目の訪問看護事業所あるいは病院の訪問看護部門の管理者、または今後管理者の役割を担う訪問看護師 定員：10名
新人訪問看護師教育研修（看護技術研修）	12月 1日間 9:30～16:30	新卒訪問看護師、医療機関等から転職し訪問看護が未経験である看護師（潜在看護師を含む）、訪問看護師となつて経験が浅い看護師が、訪問看護に必要な看護技術として、特にフィジカルアセスメントに関する基本的知識および技術を習得する。 研修内容： ・訪問看護におけるフィジカルアセスメント ・事例で考える基本技術	対象：訪問看護未経験で採用1～3年目の訪問看護師 定員：20名
新人訪問看護師教育研修（フォローアップ研修）	2025年3月 0.5日間 9:30～12:30	訪問看護師としての成長や、利用者に対して訪問看護師の役割を果たしていることを認めることで、訪問看護師を継続するモチベーションや自己の能力および適性を涵養する。 研修内容： ・訪問看護師としての今とこれから（演習）	対象：訪問看護未経験で採用1～3年目の訪問看護師 定員：20名
訪問看護師動機付け研修	2025年3月 2日間 ① 9:30～16:00 ② 9:00～16:00	訪問看護に関心のある看護師（転職を予定あるいは考えている看護師や潜在看護師を含む）や看護学生等、訪問看護の経験が無い者が訪問看護の入門研修を受けることで、訪問看護に興味を持ち、訪問看護師として就業する動機付けの機会とする。 研修内容： ・訪問看護の概要・訪問看護の対象など ・同行訪問	対象：訪問看護未経験の看護師および看護学生 定員：20名

## ナースセンター研修

【問い合わせ先】 ナースセンター部  
TEL 055-226-0110 (直通)

山梨県ナースセンターは、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、看護職確保・定着のための研修を行っています。

- 研修事業の大枠
1. 新人看護職の離職防止と定着を目的とした、新人看護職指導担当者のための研修
  2. 未就業看護職の再就業支援のための研修

研修名	開催日時	ねらい	対象者・定員
新人看護職指導担当者のための研修	9/10(火)・ 9/11(水)・ 10/9(水) 10:00～ 16:00	新人看護職員の離職防止において、新人看護職員の指導にあたる看護職員の質の向上を図り、きめ細やかな指導を行うことが出来るようにすると共に、同じ立場の看護職員が横のネットワークを構築する機会とする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒後3年～10年の看護職(保健師、助産師、看護師)</li> <li>・ 現在、新卒及び中途採用者の指導に携わっている者</li> <li>・ 3日間出席できる者</li> <li>・ 定員：70名 ※1施設5名まで</li> </ul>
「看護職として今から考えるキャリア後期の考え方・働き方」講座	2025.2/4(火) 13:30～ 16:00	これまで看護職として積み重ねてきた知識や経験を活かし、看護職としてのキャリア後期の考え方や働き方について考える機会とする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 40歳以上で、現在就業中、あるいは未就業の看護職者</li> <li>・ 講座内容に興味のある看護職者</li> <li>・ 定員：40名</li> </ul>
潜在看護職員復職支援研修	随時 (4月～ 2025年3月)	病院等への就業希望がある看護職を対象に、最新の看護業務の習得と職場復帰を図るために、希望する日時・病院・訪問看護ステーションにおいて実務研修を受け再就業を促進する ※再就業を希望する看護職が、希望する施設・期間(3～5日)・内容で研修を受けられるようナースセンターが調整をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就業を希望する看護職者</li> <li>・ 現在看護業務についていない看護職者</li> </ul>
再就職支援研修	1回目：8月頃 2回目：10月頃	未就業看護職者が再就業に向けて必要な基本的知識・技術を習得し、学び続けられる機会を提供することで、再就職支援につなげる ※詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせします	県内の未就業看護職者
潜在看護職交流会	11/26(火)	交流会を通して、復職を考えるきっかけを作り、復職を支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未就業で、看護職として仕事してみようと考えている看護職者</li> <li>※看護協会会員、非会員は不問</li> </ul>

## 社会経済福祉委員会研修

【問い合わせ先】 ナースセンター部  
TEL 055-226-0110 (直通)

山梨県看護協会社会経済福祉委員会では、ヘルシーワークプレイスー健康で安全な職場づくりを目指してーを普及させるための研修を今年度も開催する予定です。開催要項ができ次第、郵送またはホームページに掲載してお知らせします。

研修名	開催日時	ねらい	対象者・定員
ヘルシーワークプレイスに関する研修会	未定	未定	未定

**【職能研修】** 〔申込先〕総務部 TEL 055-226-4288 (直通) FAX 055-222-5988

開催日	研修名	受講料
<b>【保健師職能研修】</b> ① 9月～11月頃 ② 12月～1月頃	①第1回保健師職能研修会 保健師として実践している活動を振り返り、保健師活動の原点・役割、保健師の専門性を再認識し、保健師活動を可視化、言語化することを目的とする内容で調整中 ②第2回保健師職能研修会 行動変容を促すためのスキルアップを目的とする内容で調整中	会 員：無料 非会員：500円
<b>【助産師職能研修】</b> ① 6月～7月 ② 11月頃 ③ 3月頃	①助産師交流集会「1%の奇跡」映画放映 ②新人助産師研修 ③新生児蘇生法講習会 ※ CLoCMiP®「助産実践能力習熟度段階(クリニカルラダー)レベルⅢ」 認証申請のための必須研修	①、② 会 員：無料 非会員：500円 ③ 一律3,000円
<b>【看護師職能研修】</b> ①10月頃または2月頃 1回 ②10月頃、2月頃の2回	<b>【領域Ⅰ：病院領域】</b> ①病院領域職能研修会(内容は未定) <b>【領域Ⅱ：介護・福祉施設、在宅領域合同】</b> ②介護・福祉施設、在宅領域職能研修会	会 員：無料 非会員：500円
<b>【三職能合同研修】</b> 未定	未定	会 員：無料 非会員：500円

※開催日時が決定次第、開催要項や申込書等を通知いたします。

上記研修の詳細につきましては、山梨県看護協会ホームページでご確認ください。

**【地区支部研修】** 〔問い合わせ先〕各地区支部 ※受講料は会員無料、非会員 500円です

開催日	研修名
<b>【中北地区支部】</b> ①未定 ②7月～9月頃 ③9月～12月頃 ④9月～12月頃 ⑤未定	①中北保健所管内看護管理者代表会議(対象：トップマネージャー) ②看護師のための社会人基礎力(対象：指導者) ③ ACP について(仮)(対象：ラダーⅠ～Ⅲ) ④ ACP について(仮)(対象：ラダーⅢ以上) ⑤市民公開講座：ACP の普及活動、二次検診への啓発(対象：一般市民など) 4市町のイベント時保健所参加行事に協賛する
<b>【峡北地区支部】</b> ①7月頃 ②9月頃 ③11月頃	①継続看護研修会「事例報告・事例検討会」 ②感染症発生時の地域連携を考える ③自然災害時の地域連携を考える
<b>【峡東地区支部】</b> ①10月頃 ②12月～1月頃 ③2025年1月～3月頃	①現場に活かす研修 ②継続看護(多職種連携)研修 ③市民公開講座：「認知症予防について」
<b>【峡南地区支部】</b> ①10月予定 ②11月上旬頃予定 ③2025年2月予定	①トピックス研修：災害について DMAT 派遣から考える災害対策とは ②市民公開講座：生活習慣病(腎臓病・糖尿病に関連した内容) ③看護研究発表会
<b>【富士・東部地区支部】</b> ①未定 ②未定 ③未定 ④9～11月頃	①看護のケア向上研修：災害看護に関する研修会 パートⅡ ACP 研修 ②リフレッシュ研修：調整中 ③看護の連携継続研修：調整中 ④市民公開講座

※開催日時が決定次第、開催要項や申込書等を通知いたします。

上記研修の詳細につきましては、山梨県看護協会ホームページでご確認ください。

# 2024年度山梨看護学会のご案内

2024年度山梨看護学会は下記の通り開催予定です。詳細は、[山梨県看護協会ホームページのトップページにてお知らせいたします。](#)情報は随時更新いたします。

## 【山梨看護学会の目的】

山梨看護学会（以下、本学会という）は、看護に関する研究活動を行い、山梨県の看護の質の向上に寄与すると共に、県民の健康な生活の実現に貢献することを目的としている。

### I. 開催概要 ※下記は2024年2月末現在の情報です

1. 開催期間：11月下旬～2025年1月上旬 ※詳細についてはホームページでご案内いたします
2. 会場：公益社団法人山梨県看護協会 看護教育研修センター
3. テーマ：検討中
4. 研究発表：口演・示説（どちらもパワーポイント使用）
5. 企画その他：検討中
6. 問い合わせ先：〒400-0807 甲府市東光寺2-25-1 公益社団法人山梨県看護協会 教育部  
TEL：055-236-5050 FAX：055-236-6060 E-mail：y-kyoiku@yna.or.jp

### II. 演題募集のご案内

2024年度山梨看護学会の演題を募集いたします。

1. 登録期間：2024年5月1日（水）～5月31日（金）17：00まで
2. 登録資格：演題発表者（筆頭研究者）及び看護職の共同研究者は山梨県看護協会会員に限る。  
（但し、看護職以外で会員と共同研究を行った者は、共同研究者として投稿原稿に記名できる。）
3. 演題登録の要件：看護の向上と発展に寄与するものであり、未発表（施設内発表は除く）のものに限る。
4. 選考方法：演題採択の可否は、査読基準に基づく査読を経て決定する。査読の結果、修正を求められた場合は、再考・修正の上、指定された期日までに再提出する。
5. 演題登録に関する書類 ※ホームページに掲載いたします
  - ・演題募集要項
  - ・演題申込書
  - ・抄録原稿作成の手引き
  - ・抄録原稿見本
  - ・抄録原稿書式フォーム
  - ・チェックリスト
  - ・抄録選考基準
  - ・利益相反に関する指針および申請書
  - ・応募から発表までの流れ

### III. 学会参加のご案内

詳細は9月以降にホームページに掲載いたします。

## 2024年度 5月・6月開催研修会 申込書

この申込書は5月1日以降使用できません。7月開催以降の研修会お申し込みは  
山梨県看護協会ホームページの研修情報管理システムからお申し込みください。



※2024年度の研修会は山梨県看護協会ホームページ「研修情報管理システム」より研修情報を確認してください。

★ 施設で一括申し込みの場合は様式2と一緒に送ってください。

★ 申込責任者には、申込みに関する連絡・問い合わせをすることがあります。

研修日	2024年	月	日	※初日のみご記入ください
研修名				
施設名				
施設電話番号				
申込責任者			申込責任者連絡部署	
			申込責任者職位	
振込方法	<input type="checkbox"/> 受講者の個人振込 <input type="checkbox"/> 施設の一括振込 *ご希望の振込方法にチェック☑を入れてください			
受 講 申 込 者 氏 名				
1			6	
2			7	
3			8	
4			9	
5			10	
備 考				

送付先：公益社団法人山梨県看護協会 教育部  
E-mail：y-kyoiku@yna.or.jp FAX 055-236-6060 (直通)

## 2024年度 5月・6月開催研修会 申込書

この申込書は5月1日以降使用できません。7月開催以降の研修会お申し込みは  
山梨県看護協会ホームページの研修情報管理システムからお申し込みください。



※2024年度の研修会は山梨県看護協会ホームページ「研修情報管理システム」より研修情報を確認してください。

★項目に沿って記入をしてください。該当する□にチェック☑を入れてください。

★施設一括の場合は様式1と一緒に送ってください。様式2のみの場合、振込方法は受講者の個人振込になります。

★住所に記載がない場合、受講決定通知は施設へ発送いたします。

申込日 年 月 日

研修日	年 月 日 ※初日のみご記入ください		
研修名			
ふりがな	山梨県看護協会	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員	
氏名	会員番号	※ 都道府県の会員番号を記入してください	
	職種	<input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 助産師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 准看護師	
所属施設名	職位	例) 看護師長、主任、副主査など	看護実務 経験年数 年目
所属部署	※該当部署に○をしてください 内科・外科・回復期リハビリ・一般・急性期・療養・ 外来・地域包括ケア・混合・精神科・救急ICU・ 小児科・産科・透析室・手術室・訪問看護ステーション・ 老人保健施設・福祉施設・ その他( )	受講選択理由 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> テーマに興味 <input type="checkbox"/> 講師に興味 <input type="checkbox"/> 内容に興味 <input type="checkbox"/> 知識を得る <input type="checkbox"/> 問題解決 <input type="checkbox"/> 上司の勧め <input type="checkbox"/> 受講経験者の勧め <input type="checkbox"/> 役割を果たす <input type="checkbox"/> ラダーと合致 <input type="checkbox"/> その他( )
所属施設 直通電話または内線			
受講者 携帯電話番号 ※任意 ※研修に関する緊急連絡がある場合のみに使用します			
* 受講決定通知を個人宛に送付を希望する方のみ、自宅住所を記入してください。 ※原則として所属施設に送付します			
〒			
住所			
この研修の受講動機を箇条書きでお書きください。 ※100字程度			

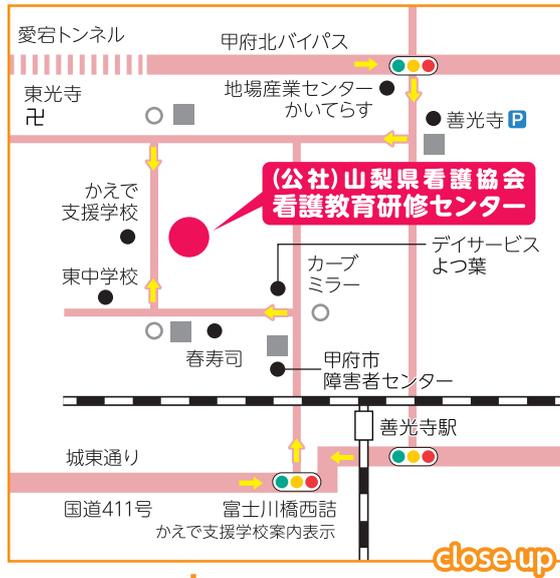
※研修無料受講券を使用する方は、事前に教育部までご連絡ください。

※この申込書(様式2)はナースセンター研修、訪問看護推進研修、職能委員会研修、地区支部研修には使用できません。

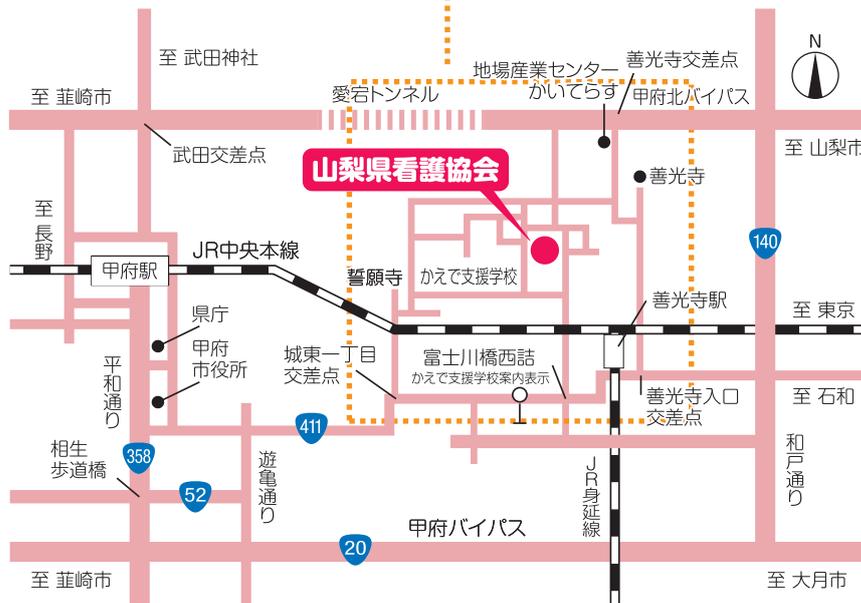
※本会の個人情報保護方針および規定に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。本会研修申し込みの際に得た個人情報は、研修会申し込みに伴う書類発送、学習ニーズや研修評価に伴う調査依頼、研修案内に用い、この利用目的の範囲を超えて、個人情報を取り扱うことはいたしません。もし、この範囲を超える場合には、本人の同意を得た上で取り扱います。

送付先：公益社団法人山梨県看護協会 教育部

E-mail : y-kyoiku@yna.or.jp FAX 055-236-6060 (直通)



■ 看板  
○ カーブミラー



電車  
JR身延線善光寺駅下車  
徒歩10分



車(タクシー)  
JR甲府駅下車  
10分



バス  
JR甲府駅南口  
バス乗り場7番線より  
石和・富士吉田方面  
甲府駅障害者センター下車  
徒歩7分



## 公益社団法人 山梨県看護協会 看護教育研修センター

〒400-0807 山梨県甲府市東光寺 2-25-1

TEL : 055-226-4288 / FAX : 055-222-5988

ホームページ : <https://www.yna.or.jp>

問い合わせは 月~金曜日 8:30 ~ 17:30(祝日・年末年始を除く)

f「公益社団法人山梨県看護協会」で検索!

